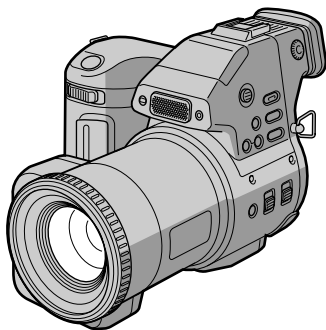
3-066-743-**01** (1)

デジタルスチルカメラ

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠**警告**　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

FD Mavica

MVC-FD97

必ずお読みください

本機はフロッピーディスクや“ メモリースティック ”をメディアとして使用するデジタルカメラです。使用できるフロッピーディスクや“ メモリースティック ”については、74、75ページをご覧ください。

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。

撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの撮影内容の補償については、ご容赦ください。

“ メモリースティック ”の画像の互換性について

- 本機は、(社)電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格“ Design rule for Camera File system ”に対応しています。
  統一規格に対応していない機器(DCR-TRV900、DSC-D700、DSC-D770)で記録された静止画像は本機では再生できません。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本機に振動や衝撃を与えないでください!

誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、フロッピーディスクや“ メモリースティック ”が使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。

液晶画面、ファインダー(搭載機種のみ)およびレンズについて

- 液晶画面やファインダーは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されませんのでご安心してお使いください。
- 液晶画面やファインダー、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

湿気にご注意ください!

雨の日などに屋外で撮影するときは、本機を濡らさないようにご注意ください。結露が起きたときは、74ページの記載に従って結露を取り除いてからご使用ください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や破損にそなえ、必ず予備のデータコピーをおとりください。

長時間使用時のご注意

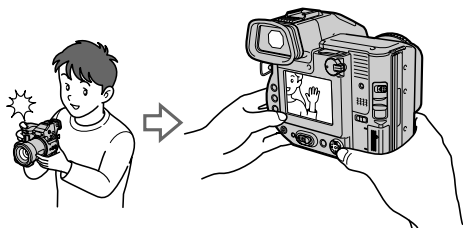
本体が熱くなることがありますのでご注意ください。

目次

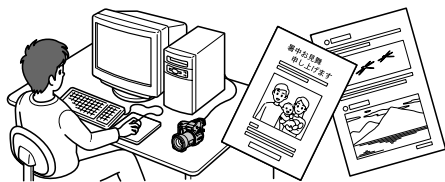
こんなことができます

撮ってすぐ画像を確認して、不要な画像はすぐ削除できます

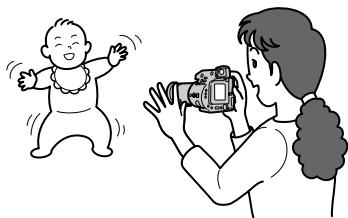
デジタルスチルカメラは、撮影後すぐに再生して、不要な画像を削除することができます。

静止画を撮る：17ページ
静止画を見る：26ページ
画像を消す：66ページ

パソコンに取り込めます

撮影した画像をフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に入れ、パソコンに取り込み、パソコンのソフトウェアを使って、画像処理をしたり、Eメールに添付したりできます。

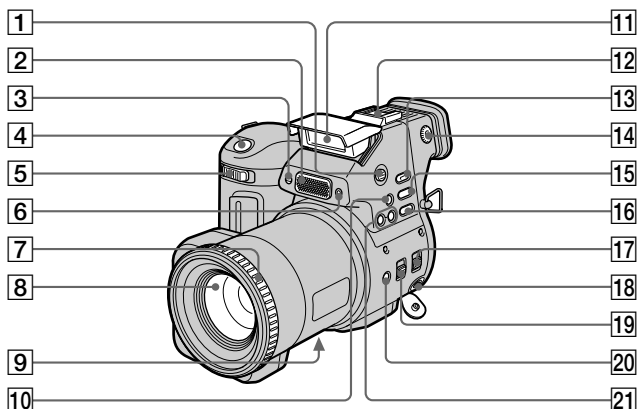
パソコンで画像を見る：29ページ

音声つきの動画を撮影できます

最大60秒の動画を撮影できます。

動画を撮る：24ページ

デジタルスチルカメラならではの撮影を状況に応じて楽しめます

クリップモーションを作成する：49ページ
Eメールに適した静止画を撮る ：51ページ
静止画に音声をつけて撮る ：51ページ
書類などの文字を撮る：52ページ
画像に圧縮をかけないで撮る：53ページ

各部のなまえを確認する

使いかたの説明は、（　）内のページにあります。

1 **OPEN（FLASH）ボタン**（23）

2 **内蔵マイク**
撮影時触れないようにする。

3 **セルフタイマーランプ**（22）

4 **シャッターボタン**（17、24）

5 **ズームレバー**（20）

6 **調光窓**
撮影時にふさがないようにする。

7 **フォーカスリング**（54）

8 **レンズ**

9 **DC IN端子カバー／DC IN端子**（9、12）

10 **（ワンプッシュホワイトバランス）ボタン**（58）

11 **フラッシュ**（23）

12 **アクセサリーシュー**

13 **SPOT METERボタン**（57）

14 **ファインダー視度調節ダイヤル**（19）

15 **WHITE BALANCEボタン**（58）

16 **PROGRAM AEボタン**（55）

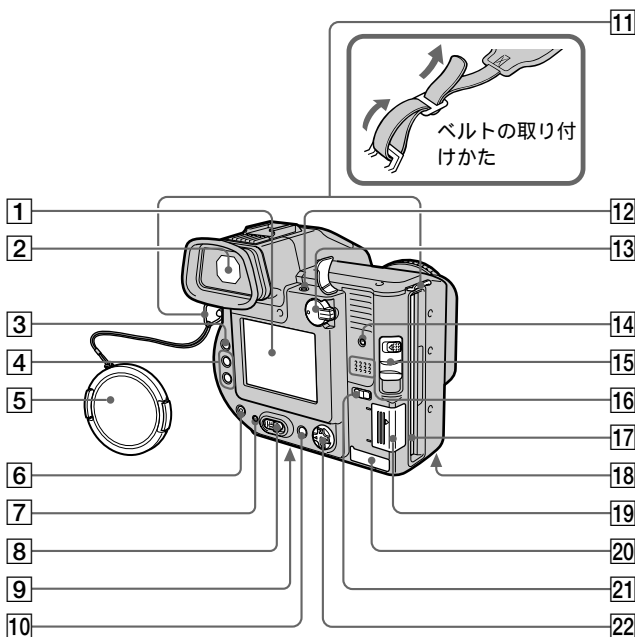
17 **STEADY SHOT ON/OFFスイッチ**（21）

18 **A/V OUT（MONO）端子**（64）
オーディオ出力はモノラルになります。

19 **FOCUS AUTO/MANUALスイッチ**（54）

20 **（マクロ）ボタン**（54）

21 **PROGRAM AE +/−ボタン**（55）

各部のなまえを確認する（つづき）

1 **液晶画面**

2 **ファインダー**（19）

エルシーディー オン オフ
3 LCD ON/OFF**スイッチ**（19）

ボリューム
4 VOL＋/－**ボタン**（28）

5 **レンズキャップ（付属）**

6 **ϟ（フラッシュ）ボタン／ϟ（フラッシュ）ランプ**（23）

パワー オン オフ チャージ
7 POWER ON/OFF（CHG）**ランプ**（10、13）

パワー
8 POWER**スイッチ**（13）

9 **三脚用ネジ穴（底面）**
ネジの長さが6.5 mm未満の三脚をお使いください。ネジの長い三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

ディスプレイ
10 DISPLAY**ボタン**（22）

11 **ベルト取り付け部**

アクセサリー
12 ACC**端子**

プレイ スチル ムービー
13 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチ**（17、24、26、40）

14 **アクセスランプ**（17、18）

ディスク イジェクト
15 DISK EJECT**レバー**（15）

16 **スピーカー**

17 **フロッピーディスク挿入口**（15）

18 **バッテリーカバー**／PUSH（プッシュ）**ボタン**（8）

19 **“メモリースティック”カバー／“メモリースティック”挿入口**（16）

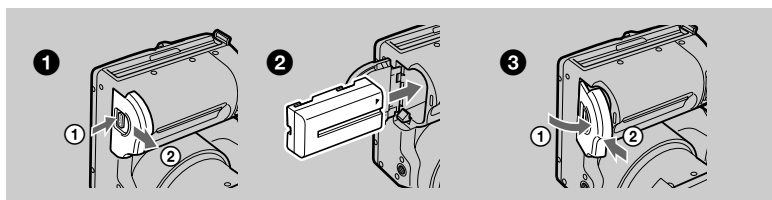
20 USB（ユーエスビー）**端子カバー**／USB（ユーエスビー）**端子**（31）

21 MS/FD（メモリースティック フロッピーディスク）**スイッチ**

22 **コントロールボタン**（13、40）

電源を準備する

バッテリーを本体に入れる

本機の電源には“インフォリチウム”バッテリー*（Lシリーズ）NP-F330（付属）／F550（別売り）を使用します。それ以外のバッテリーはお使いになれません。
“インフォリチウム”バッテリーについて、詳しくは76ページをご覧ください。

❶ **バッテリーカバーを開ける。**

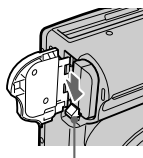
PUSHボタンを押しながら矢印の方向に開けます。

❷ **バッテリーを入れる。**

バッテリーの▲マークを奥にして入れます。

❸ **バッテリーカバーを閉める。**

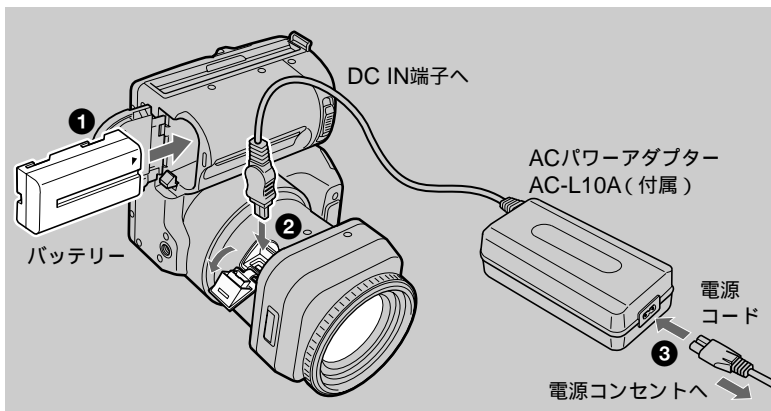
バッテリーを取り出す

バッテリーカバーを開け、バッテリー取りはずしレバーをずらして取り出してください。
取り出すときは、バッテリーが落下しないようにご注意ください。

バッテリー取りはずしレバー

* **InfoLITHIUM L（“インフォリチウム”）バッテリーとは**

InfoLITHIUM L（“インフォリチウム”）に対応している機器とバッテリーの使用状況に関するデータ通信を行うことができるバッテリーです。本機はInfoLITHIUM L（“インフォリチウム”）対応です。“InfoLITHIUM（インフォリチウム）”はソニー株式会社の商標です。

バッテリーを充電する

本機の電源が入っていると、バッテリーを充電できません。
必ず本機の電源を切っておいてください。

❶ **バッテリーを本体に入れる。**

❷ **DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

❸ **電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。**
充電が始まると、液晶画面の下のPOWER ON/OFF（CHG）ランプがオレンジ色に点灯します。
充電が終わると、POWER ON/OFF（CHG）ランプが消えます（**満充電**）。

バッテリーの充電が終わったら

ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から取りはずしてください。

バッテリー残量時間表示

撮影／再生できる残り時間を液晶画面またはファインダーに表示します。
使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。
室温10°C～30°Cで充電することをおすすめします。

電源を準備する（つづき）

バッテリーNP-F330（付属）／F550（別売り）について

寒冷地での撮影や液晶画面を使っての撮影では使用時間が短くなります。寒冷地でお使いになる場合は、バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本機に取り付けてください。カイロをお使いの場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

オートパワーオフ機能

撮影中に本機の電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。そのまま使いたいときは、POWERスイッチを右側にずらして電源を入れ直してください。

充電中のPOWER ON/OFF（CHG）ランプについて

以下の場合、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点滅することがあります。

• バッテリーが故障しているとき（82ページ）

以下の場合、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点灯しません。

• バッテリーが正しく取り付けられていないとき

充電時間

バッテリー	満充電時間
NP-F330（付属）	約150分
NP-F550	約210分

使い切ったバッテリーを25℃で充電したときの時間です。

バッテリーの使用時間と撮影／再生可能枚数

静止画を撮影／再生するとき（フロッピーディスク）

	NP-F330（付属）		NP-F550	
	使用時間	撮影／再生枚数	使用時間	撮影／再生枚数
連続撮影時*	約65分	約650枚	約150分	約1600枚
連続再生時**	約80分	約2200枚	約170分	約4800枚

静止画を撮影／再生するとき（"メモリースティック"）

	NP-F330（付属）		NP-F550	
	使用時間	**撮影／再生枚数**	**使用時間**	**撮影／再生枚数**
連続撮影時*	約80分	約1600枚	約170分	約3400枚
連続再生時**	約100分	約3000枚	約230分	約6900枚

満充電して25℃で使用したときの場合。
画像サイズが640×480、撮影モードが通常撮影の場合。
* 約5秒ごとに撮影（フロッピーディスク使用時）
  約3秒ごとに撮影（"メモリースティック"使用時）
** 約2秒ごとにシングル画面を順番に再生

動画を撮影するとき（フロッピーディスク）

	使用時間	
	NP-F330（付属）	NP-F550
連続撮影時	約85分	約180分

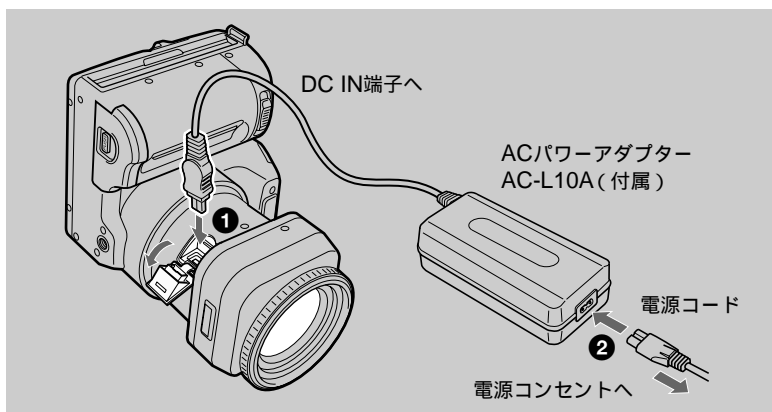
動画を撮影するとき（"メモリースティック"）

	使用時間	
	NP-F330（付属）	NP-F550
連続撮影時	約90分	約190分

満充電して25℃で使用したときの場合。
画像サイズが160×112の場合。

ご注意

- 低温で使用したり、フラッシュを使った操作、電源の入／切、ズームを繰り返すと、使用時間は短く、撮影／再生枚数は少なくなります。
- フロッピーディスク／"メモリースティック"の容量は限られています。上記の時間と枚数はフロッピーディスク／"メモリースティック"を交換しながら連続撮影／再生したときの目安です。
- バッテリー残量表示時間が充分なのに電源がすぐ切れるときは満充電すると正しく表示されます。
- ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因になります。

外部電源を使用する

❶ **DC IN端子カバーを開け、▲マークを上にして、本機のDC IN端子につなぐ。**

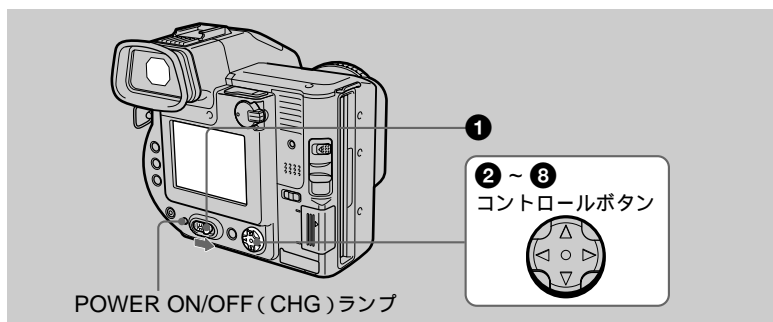
❷ **電源コードをACパワーアダプターとコンセントにつなぐ。**

自動車電源は
別売りのDCアダプター／チャージャーでご利用いただけます。

海外でも充電できます
詳しくは87ページをご覧ください。

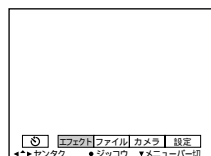
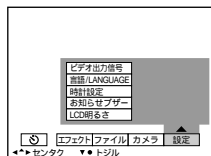
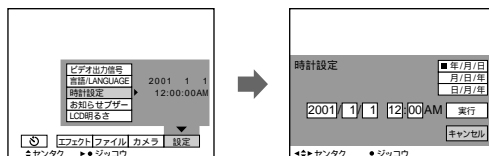
ACパワーアダプターは
コンセントの近くでお使いください。使用中、不具合が生じたときは、すぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。

日付・時刻を合わせる

本機をはじめて使うときは、日付・時刻を設定してください。設定しないと、電源を入れるたびに日付設定画面が表示されます。

❶ POWERスイッチを矢印の方向にずらして、電源を入れる。

POWER ON/OFF（CHG）ランプが緑色に点灯します。

❷ コントロールボタンの▲を押す。

メニューバーが表示されます。

❸ コントロールボタンの▶で［設定］を選び、中央の●を押す。

❹ コントロールボタンの▲/▼で［時計設定］を選び、中央の●を押す。

❺ コントロールボタンの▲/▼で年月日の表示順を選び、中央の●を押す。

［年/月/日］［月/日/年］［日/月/年］の中から選びます。

❻ コントロールボタンの◀/▶で設定する年、月、日、時、分の項目を選ぶ。

設定する項目の上下に▲/▼が表示されます。

❼ コントロールボタンの▲/▼で数値を設定して、中央の●を押す。

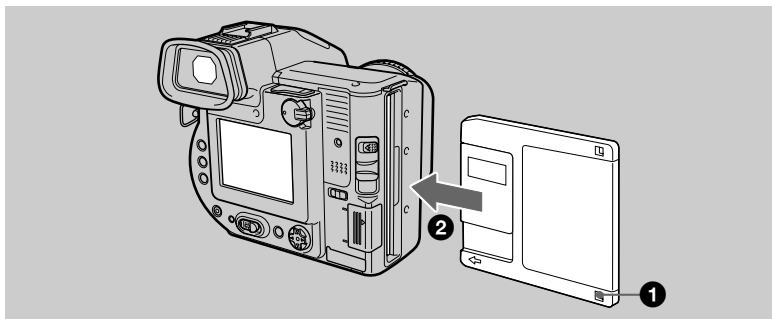
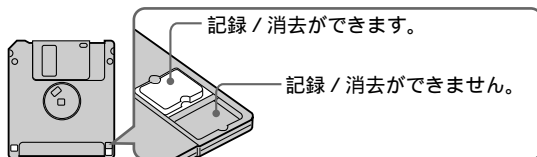
数値が確定され、次の項目に移ります。
手順❺で［日/月/年］を選んだときは、24時間表示で設定してください。

❽ コントロールボタンの▶で［実行］を選び、時報と同時に中央の●を押す。

日付・時刻が設定されます。

中止するには

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で［キャンセル］を選び、中央の●を押してください。

フロッピーディスクを入れる

❶ 撮影するときは、誤消去防止タブが記録／消去できる位置になっているか確認する。

❷ フロッピーディスクをカチッと音がするまで差し込む。

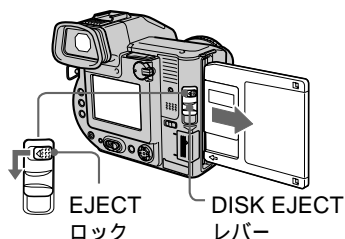
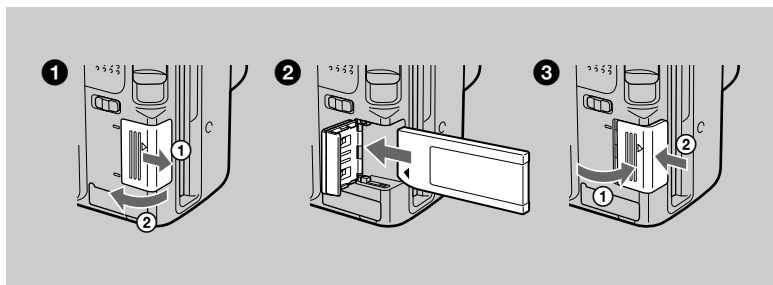
使えるフロッピーディスク

- サイズ：3.5インチ
- タイプ：2HD（1.44Mバイト）
- フォーマット：MS-DOS（DOS/V）フォーマット（512バイト×18セクタ）

ご注意

- 上記以外のメディアは挿入しないでください。
- メモリースティック用フロッピーディスクアダプターMSAC-FD2M/FD2MAはお使いになれません。
- アクセスランプが点灯しているときは、絶対にフロッピーディスクを取り出したり、電源を切ったり、MS/FDスイッチを切り換えたりしないでください。

フロッピーディスクを取り出す

EJECTロックを左側にずらしたまま、DISK EJECTレバーを下にずらしてください。

“ メモリースティック ”を入れる

❶ “ メモリースティック ”カバーを開ける。

矢印の方向にカバーをずらして開けます。

❷ “ メモリースティック ”を入れる。

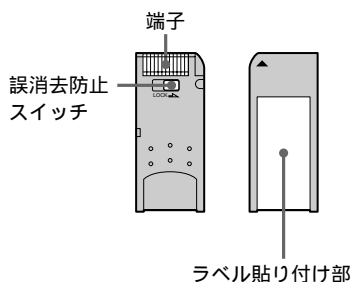
“ メモリースティック ”の▶マークを奥にして、「カチッ」と音がするまで差し込む。

❸ “ メモリースティック ”カバーを閉める。

“ メモリースティック ”を取り出す

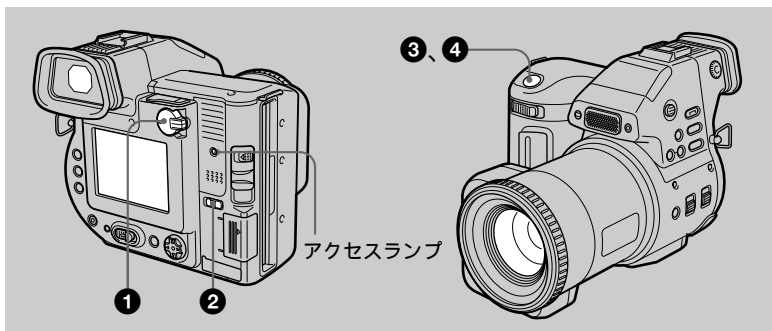
“ メモリースティック ”カバーを開け、“ メモリースティック ”を軽く1回押して取り出してください。

ご注意

- “ メモリースティック ”が正しく奥まで差し込まれないと「メモリースティックエラー」などが表示されます。
- アクセスランプが点灯しているときは、絶対に“ メモリースティック ”を取り出したり、電源を切ったり、MS/FDスイッチを切り換えたりしないでください。
- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や画像編集ができません。

誤消去防止スイッチの位置や形状は“ メモリースティック ”の種類によって異なります。

“Memory Stick”（“ メモリースティック ”）および MEMORY STICK はソニー株式会社の商標です。

静止画を撮る

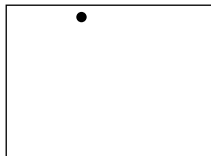
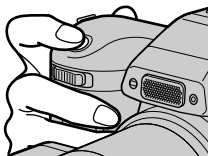
静止画をJPEG（ジェイペグ）形式で記録します。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れておきます。

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」にする。**

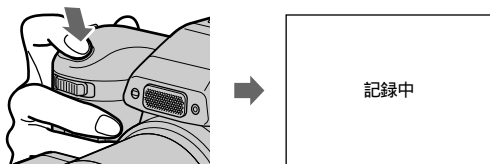
❷ **MS/FDスイッチで記録するメディアを選ぶ。**

MS：“ メモリースティック ”に記録するとき
FD：フロッピーディスクに記録するとき

❸ **シャッターを軽く押す。**

ピピッと音がして、液晶画面またはファインダーの画像が止まります。**このときはまだ、撮影されていません。**
本機は被写体をとらえて露出・フォーカスを自動調節しています。自動調節が終わると、点滅していたAEロック表示が点灯に変わります。**点灯すると撮影可能です。**
このときシャッターを離すと、撮影を中止します。

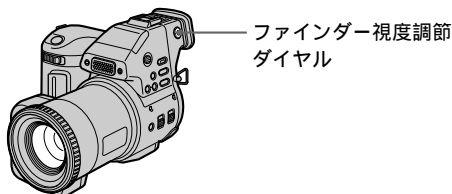
AEロック表示（緑）が点滅 → 点灯

4 シャッターを深く押し込む。

カシャと音がして、撮影されます。
画面に「記録中」と表示され、画像がフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に記録されます。
「記録中」の文字が消えたら、次の撮影ができます。

フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”1枚に記録できる枚数は
48ページをご覧ください。

ご注意

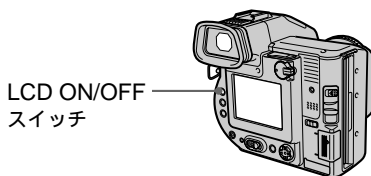
- 明るい被写体を撮影する場合、AEロック後に液晶画面の色合いが変わることがありますが、記録される画像に影響はありません。
- フロッピーディスク／“ メモリースティック ”に書き込み中はアクセスランプが点灯します。点灯中は、本機に振動や強い衝撃を絶対に与えないでください。また、電源を切ったり、フロッピーディスク／“ メモリースティック ”やバッテリーを取り出したり、MS/FDスイッチを切り換えたりしないでください。画像データが壊れたり、フロッピーディスク／“ メモリースティック ”が使えなくなることがあります。
- シャッターをそのまま押し込んだ場合は、自動調節後撮影します。ただし、以下のときには撮影できません。
  – 撮影状況がフラッシュが必要な状態で、ϟ（フラッシュ）ランプ（6ページ）が点滅しているとき

ファインダーで撮影する

ファインダー視度調節ダイヤルを回し、ファインダーの画像がはっきり見えるようにして撮影します。

ご注意

ファインダーから顔を離すと、自動的にファインダーの画面が消えます。

液晶画面を消す

LCD ON/OFFスイッチを押して、液晶画面を消します。バッテリーがより長持ちします。

ご注意

- メニューで[デモモード]を[入]にすると、液晶画面を消すことはできません。
- 液晶画面が消えているときにファインダーの画面が消えていると、以下のボタン、スイッチ類のみ操作することができます。
  －LCD ON/OFFスイッチ
  －POWERスイッチ
  －PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
  －シャッターボタン
  －MS/FDスイッチ
  －STEADY SHOT ON/OFFスイッチ
  －FOCUS AUTO/MANUALスイッチ
  －フォーカスリング

静止画を撮る（つづき）

最後に撮影した画像を確かめる（クイックレビュー）

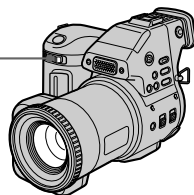
メニューバーを消し（41ページ）、コントロールボタンの◀を押すと、最後に撮影した画像が表示されます。

通常の撮影モードに戻るには：シャッターボタンを軽く押す。または、画面上の［戻る］をコントロールボタンの◀/▶で選び、中央の●を押す。

画像を削除するには：画面上の［削除］をコントロールボタンの◀/▶で選び、中央の●を押し、さらに［実行］を選んでから●を押す。

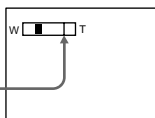
液晶画面の明るさを調節する

メニューの［LCD明るさ］で調節します（47ページ）。
フロッピーディスクまたは“メモリースティック”に書き込まれる画像の明るさには影響ありません。

ズームする

近くの被写体にピントがうまく合わないときは
ズームレバーをW側に動かして広角にし、本機を被写体に近づけて撮影してください（54ページ）。

ピントを合わせるために必要な被写体までの距離は
W側：約25 cm以上
T側： 約80 cm以上
さらに近くを撮影するときは、54ページをご覧ください。

本機はデジタルズーム機能を搭載しています

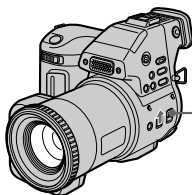
デジタルズームは、画像をデジタル処理して拡大します。ズームが10倍を超えるとデジタルズームになります。

デジタルズームを使うと

- ズーム最大倍率は20倍になります。
- 画質は低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで[デジタルズーム]を[切]にします(45ページ)。

ご注意

デジタルズームは動画撮影には使えません。

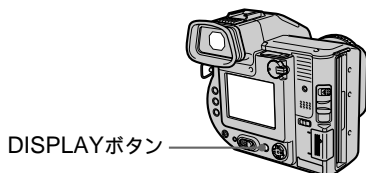
手ぶれを補正する

手ぶれ補正はカメラの揺れを検知して、そのぶれを補正する機能です。

STEADY SHOT ON/OFFスイッチをONにします。手ぶれ補正表示"✋"が表示されます。

ご注意

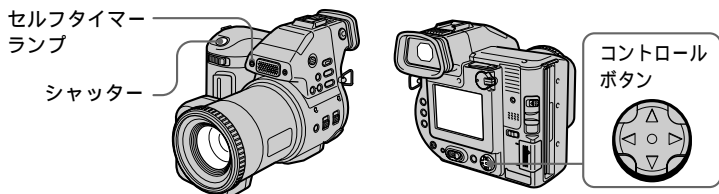
- 手ぶれ補正機能を使っていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- コンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手ぶれの補正がききにくくなります。

撮影中の画面上の表示は

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりできます。
表示される項目について詳しくは、88ページをご覧ください。

ご注意

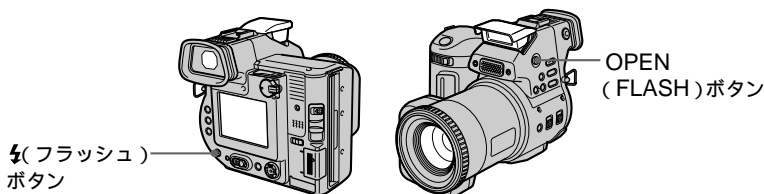
- セルフタイマー表示と応用操作での一部の表示は消すことができません。
- 画面上の表示は記録されません。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマーを使用すると、10秒後に撮影が始まります。

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で画面上の⏲を選び、中央の●を押します。画面に⏲（セルフタイマー）が表示され、シャッターを押してから10秒後に撮影されます。その間、セルフタイマーランプが点滅します。

フラッシュを使って撮影する

OPEN（FLASH）ボタンを押すと、フラッシュが上がり、使用可能になります。

お買い上げ時は「AUTO」（表示なし）に設定されており、周囲が暗くなると自動的に発光します。「AUTO」以外に設定するときは、ϟ（フラッシュ）ボタンを繰り返し押し、希望のフラッシュ表示を出します。フラッシュが持ち上がっていないときは設定できません。

ボタンを押すたびに、以下のように表示が変わります。

（表示なし）→◉ →ϟ →Ⓢ → （表示なし）

◉「AUTO赤目軽減」：撮影前に予備発光し、目が赤く写ることを抑制します。

ϟ「強制発光」：周囲の明るさに関係なく発光します。

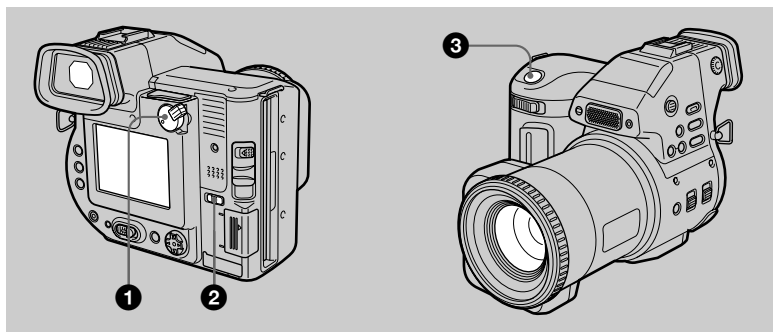
Ⓢ「発光禁止」：発光しません。

発光量は、メニューの［フラッシュレベル］で変えることができます（45ページ）。

ご注意

- 内蔵フラッシュの推奨撮影距離は0.6 m～2.5 mです。
- コンバージョンレンズ（別売り）をつけていると、フラッシュの光をさえぎり、レンズの影が映る（ケラレる）ことがあります。
- 外部フラッシュと内蔵フラッシュは同時には使用できません。
- フラッシュを使ったほうが良い状況のときフラッシュが閉じていると、液晶画面またはファインダーにⓈが表示されます。
- ◉ AUTO赤目軽減では、個人差や被写体までの距離、予備発光を見ていないなどの条件により赤目の軽減効果が現れにくいことがあります。また、プログラムAEのシャッタースピード優先モードでシャッタースピードが遅く設定されていると、赤目軽減効果は現れにくくなります。
- 明るい場面で強制発光を使うとフラッシュ効果が得られにくいことがあります。

動画を撮る

音声つきの動画をMPEG（エムペグ）形式で記録します。
POWERスイッチで電源を入れ、フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れておきます。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**MOVIE**」にする。**

2 MS/FD**スイッチで記録するメディアを選ぶ。**

MS：“ メモリースティック ”に記録するとき
FD：フロッピーディスクに記録するとき

3 **シャッターを押し込む。**

「録画」と表示され、画像と音声がフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に書き込まれます。

ポンと1回押すと
5秒間録画します。
この録画時間はメニューの［記録時間］で10秒、15秒に設定できます（45ページ）。

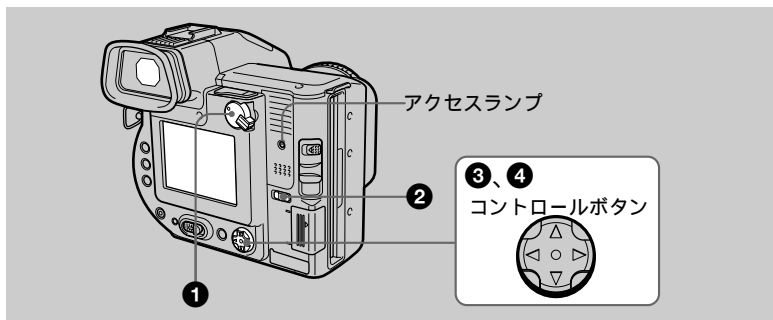
押し続けると
押し続けている間、最大60秒まで録画します。
ただし、メニューの［画像サイズ］を320×240に設定したときは、録画時間は最大15秒までになります（48ページ）。

液晶画面の明るさ調節やズーム、セルフタイマーなどは

20～22ページをご覧ください。

撮影中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。
これらの表示は記録されません。
表示される項目について詳しくは、88ページをご覧ください。

静止画を見る

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

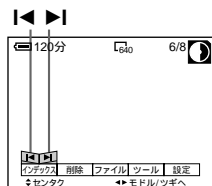
アクセスランプが点灯し、最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ **MS/FDスイッチで再生するメディアを選ぶ。**

MS：“メモリースティック”の画像を再生するとき
FD：フロッピーディスクの画像を再生するとき

❸ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

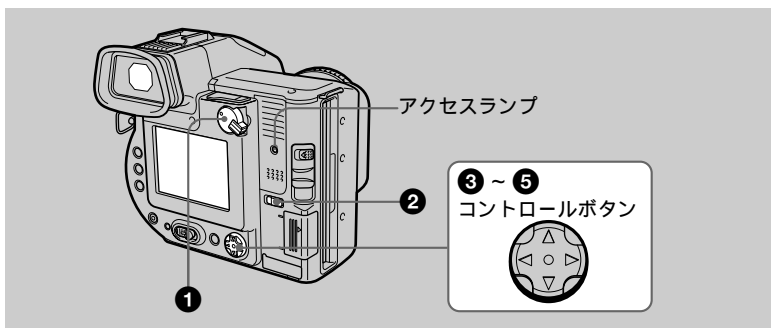
❹ **コントロールボタンで静止画を選ぶ。**

コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面またはファインダーに表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。
I◀：前の画像を見るとき。
▶I：次の画像を見るとき。

メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶で画像を選ぶことができます。

ご注意
- 本機で記録した画像は、本機以外の機器で正しく再生できないことがあります。
- 本機で記録できる最大画像サイズより大きい画像は、本機で再生できないことがあります。

静止画再生中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。
表示される項目について詳しくは、89ページをご覧ください。

動画を見る

❶ **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

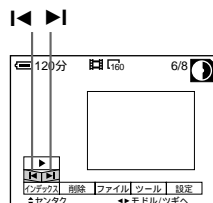
アクセスランプが点灯し、最後に撮影した画像（静止画または動画）が表示されます。

❷ **MS/FDスイッチで再生するメディアを選ぶ。**

MS：“メモリースティック”の画像を再生するとき
FD：フロッピーディスクの画像を再生するとき

❸ **コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。**

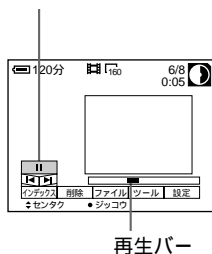
❹ **コントロールボタンで動画を選ぶ。**

動画は静止画よりもひとまわり小さく表示されます。
コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して液晶画面またはファインダーに表示されているI◀/▶Iボタンを選び、◀/▶を押します。
I◀：前の画像を見るとき。
▶I：次の画像を見るとき。

動画を見る（つづき）

❺ **液晶画面またはファインダーに表示されている▶（再生スタート）ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押す。**

動画と音声が再生されます。
再生中は▶（再生スタート）ボタンが❚❚（一時停止）ボタンに変わります。

▶（再生スタート）ボタンまたは❚❚（一時停止）ボタン

再生バー

再生を一時停止するには
液晶画面またはファインダーに表示されている❚❚ボタンをコントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選び、中央の●を押します。

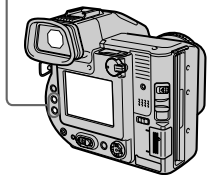
メニューバーを表示していないときは
コントロールボタンの◀/▶で画像を選びます。中央の●を押すと、画像と音声が再生されます。再生中に中央の●を押すと、一時停止します。

音量を調節する

VOL＋/−**ボタン**

VOL＋/−ボタンを押して調節します。

動画再生中の画面表示

DISPLAYボタンを押して、出したり消したりします。
表示される項目について詳しくは、89ページをご覧ください。

パソコンで画像を見る

本機で撮影した画像データを、パソコンにインストールされたソフトウェアを使って加工したり、Eメールに添付したりできます。

フロッピーディスクドライブで画像を見る

例：Windows 98**をお使いの場合**

1. **パソコンを起動し、フロッピーディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブに入れる。**
2. **[マイコンピュータ] を開き、[**3.5**インチ**FD (A:)**] をダブルクリックする。**
3. **再生したいファイルをダブルクリックする。**

   動画ファイル／音声ファイルはパソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。フロッピーディスクから直接再生すると、画像／音声がとぎれることがあります。

USB接続で画像を見る

ここでは付属のUSB接続ケーブルを使用して、パソコンで画像を見る場合を説明します。

USB接続ケーブルとは：本機とパソコンを接続して、パソコン側から本機のフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”内に記録されている画像ファイルを操作することができるケーブルです。

USB接続ケーブルを使うには：パソコン側に「USBドライバ」をあらかじめインストールする必要があります。

パソコンやアプリケーションの取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 本機で撮影したデータは以下の形式で保存されています。それぞれのファイル形式の対応アプリケーションがパソコンにインストールされていることをご確認ください。
  – 静止画（テキストモード、非圧縮モード、クリップモーション以外）：JPEG形式
  – 動画／音声：MPEG形式
  – 非圧縮モードによる静止画：TIFF形式
  – テキストモード／クリップモーション：GIF形式
- ActiveMovie Player（DirectShow）がインストールされていること（動画再生時）。
- QuickTime 3.2以降がインストールされていること（動画再生時）。

■パソコンの推奨使用環境

推奨Windows環境

OS： Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional
上記のOSが工場出荷時にインストールされていることが必要です。
上記のOS内でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

CPU： MMX Pentium 200 MHz以上

USB端子が標準で装備されていることが必要です。

推奨Macintosh環境

Mac OS 8.5.1/8.6/9.0が工場出荷時にインストールされているMacintosh
ただし、Mac OS 8.6が工場出荷時にインストールされている“ CD-ROMドライブがスロットローディング方式のiMac ”、“ iBook ”、“ Power Mac G4 ”はMac OS 9.0にアップグレードしてご使用ください。
USB端子が標準で装備されていることが必要です。

ご注意

- Windows環境／Macintosh環境とも、1台のパソコンで2つ以上のUSB接続をされる場合、ならびにハブをご使用の場合は動作保証致しません。
- 同時に使われるUSB機器によっては動作致しません。
- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。

■USBドライバをインストールする

本機とパソコンをまだ接続しないでください。

はじめに、お手持ちのパソコンにUSBドライバをインストールします。USBドライバは、本機に付属しているCD-ROMに、画像を見るためのアプリケーションソフトとともに収録されています。
ドライブが正しく認識されない場合は、「故障かな？と思ったら」（78ページ）をご覧ください。

例：Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional**をお使いの場合**

❶ **本機がパソコンに接続されていないことを確認する。**

USBケーブルはまだ接続しないでください。

❷ **パソコンの電源を入れ、**Windows**を起動する。**

❸ **付属の**CD-ROM**を、パソコンの**CD-ROM**ドライブにセットする。**

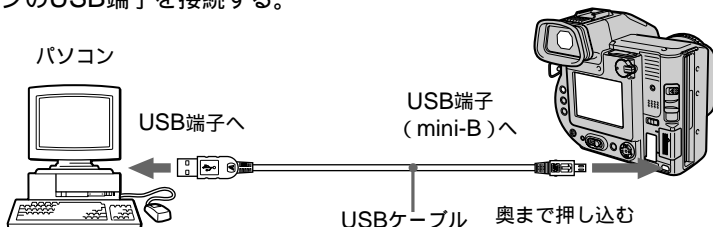
アプリケーションソフトの画面が起動します。

❹ [USB Driver Installation for Windows 98/98SE、Windows Me、Windows 2000] **をクリックする。**

USBドライバのインストール画面が起動します。

❺ **画面の指示に従って、**USB**ドライバをインストールする。**

インストール完了後、再起動するかどうかのメッセージが表示された場合には、パソコンを再起動してください。

❻ **付属の専用**USB**ケーブルで、本機の**USB**端子**（mini-B）**とパソコンの**USB**端子を接続する。**

❼ 本機にフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を挿入し、MS/FDスイッチを挿入したメディアに合わせて設定する。

❽ ACパワーアダプターを接続して、本機の電源を入れる。

本機の液晶画面またはファインダーに「USBモード」と表示され、パソコンからの通信待機状態になります。パソコンが本機を認識し、Windowsのハードウェア追加ウィザードが起動します。

❾ 画面の指示にしたがって、ハードウェアを認識させる。

2種類のUSBドライバをインストールするため、ハードウェア追加ウィザードは2回起動します。途中で中断せずに、最後までインストールを完了してください。
インストール完了後、再起動をするかどうかのメッセージが表示された場合には、パソコンを再起動してください。

例：Macintoshをお使いの場合

❶ パソコンの電源を入れ、Mac OSを起動する。

❷ 付属のCD-ROMを、パソコンのCD-ROMドライブにセットする。

❸ CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。

❹ 「システムフォルダ」の入っているハードディスクのアイコンをダブルクリックし、ウィンドウを開く。

❺ 手順❸で開いたウィンドウから、以下の2つのファイルを、手順❹で開いたウィンドウの「システムフォルダ」のアイコンの上に移動する（ドラッグ・アンド・ドロップする）。

- Sony USB Driver
- Sony USB Shim

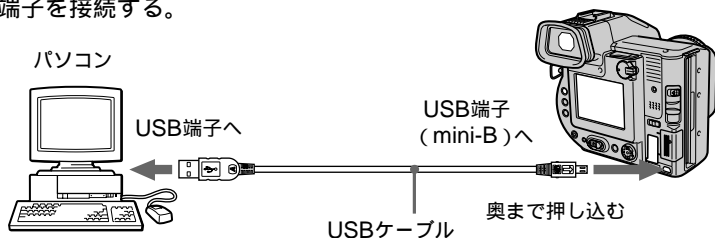
❻ 「機能拡張フォルダに入れますか？」と表示されたら「はい」を選択する。

❼ パソコンを再起動する。

■画像を見る

例：Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional**をお使いの場合**

❶ パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。

❷ 専用USBケーブルで本機のUSB端子（mini-B）とパソコンのUSB端子を接続する。

❸ 本機にフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を挿入し、MS/FDスイッチを挿入したメディアに合わせて設定する。

❹ ACパワーアダプターをコンセントに接続して、本機の電源を入れる。

本機の液晶画面またはファインダーに「USBモード」と表示されます。

❺ Windows上で「マイコンピュータ」を開き、新しく認識されたドライブ「リムーバブルディスク」（例：（D:）*）をダブルクリックする。

フロッピーディスクまたは“メモリースティック”内のフォルダが表示されます。

ドライブが正しく認識されない場合は、「故障かな？と思ったら」（78ページ）をご覧ください。

* 認識されるドライブは、パソコンによって異なります。

基本操作 再生

❻ 見たい画像／音声ファイルをフォルダの中から選んで、ダブルクリックする。

詳しくは「画像ファイルの保存先とファイル名について」（36ページ）をご覧ください。

フロッピーディスクの画像を見るとき

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
音声*	「Voice」フォルダ→音声ファイル*
Eメール画像	「E-mail」フォルダ→画像ファイル
上記以外のファイル	画像ファイル

“ メモリースティック ”の画像を見るとき

再生したいファイル	この順でダブルクリックする
静止画	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
動画*	「Mssony」フォルダ→「Moml0001」フォルダ→画像ファイル*
音声*	「Mssony」フォルダ→「Momlv100」フォルダ→音声ファイル*
クリップモーション画像	「Dcim」フォルダ→「100msdcf」フォルダ→画像ファイル
Eメール画像、 TIFF（非圧縮）画像	「Mssony」フォルダ→「Imcif100」フォルダ→画像ファイル

* パソコンのハードディスクにコピーしてから再生することをおすすめします。フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”から直接再生すると、画像／音声がとぎれることがあります。

Windows Me、Windows 2000 Professionalを使用時のご注意

Windows MeまたはWindows 2000 Professionalをお使いの場合、パソコンからUSBケーブルを取りはずすときや、パソコンを接続した本機からフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を取り出すとき、MS/FDスイッチを切り換えるときは、下記の手順をおすすめします。

1 タスクトレイの中の「ハードウェアの取り外し」アイコンより、該当するドライブを停止する。

2 「安全に取り外すことができる」とメッセージが出てから操作する。

パソコンを使用するときのご注意

フロッピーディスク／"メモリースティック"

- **フロッピーディスク／"メモリースティック"**は必ず**本機**でフォーマット（72ページ）してください。USB**接続したパソコンからはフォーマットできません。**
- フロッピーディスクは、DOS/Vフォーマット2HDタイプを使用してください。それ以外のフロッピーディスクはパソコンで正しく認識できません。
- Windowsで"メモリースティック"の最適化はしないでください。"メモリースティック"の寿命を縮めます。
- フロッピーディスクまたは"メモリースティック"内のデータを圧縮しないでください。圧縮されたデータは本機で使用できなくなります。

ソフトウェア

- アプリケーションソフトによっては、静止画ファイルを開くとファイルサイズが大きくなる場合があります。
- 付属のレタッチソフトなどを使って加工した画像をパソコンから本機に取り込む場合または本機の画像を直接加工した場合、画像形式が異なるため「ファイルエラー」が出たりファイルが開けない場合があります。
- アプリケーションソフトによっては、クリップモーション画像の1コマ目しか表示されない場合があります。

パソコンとの通信

パソコンがスタンバイ機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

その他

パソコン接続時、外部電源ご使用時は、本体内のバッテリーは取り出してください。

ソニーパーソナルコンピューターVAIOシリーズをお使いの場合

本機に付属のCD-ROMに収録されている画像処理ソフト使用時、ソフトが強制終了されることがあります。また、MPEGデータを再生すると再生時間が極端に短くなることもあります。その際は下記のホームページで最新ドライバ［Sony MPEG Decoder］を入手してご使用ください。
http://www.vaio.sony.co.jp
アップデートプログラムから［Sony MPEG Decoder］を選び、ダウンロードする。

画像ファイルの保存先とファイル名について

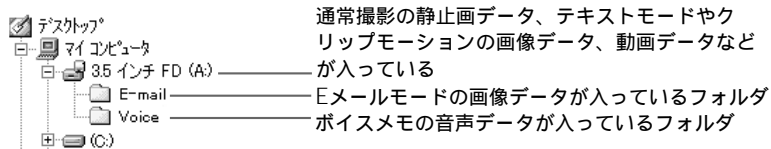
本機で撮影した画像ファイルは、撮影モードごとにフォルダにまとめられています。フロッピーディスクに記録された画像のファイル名と“ メモリースティック ”に記録された画像のファイル名はそれぞれ異なります。ファイル名の意味は以下の通りです。

フロッピーディスク使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□には001から999の数字が入ります。
∆には下記の文字が入ります。

S： 画像サイズ640×480で撮影した静止画ファイル
F： 画像サイズが640×480よりも大きい静止画ファイル
V： 画像サイズ160×112で撮影した動画ファイル
W：画像サイズ320×240で撮影した動画ファイル
T： テキストモードで撮影した静止画ファイル
C： ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイル
M：モバイルモードで撮影したクリップモーションファイル

例：Windows 98**で見たときの例（フロッピーディスクが認識されたドライブは**A）

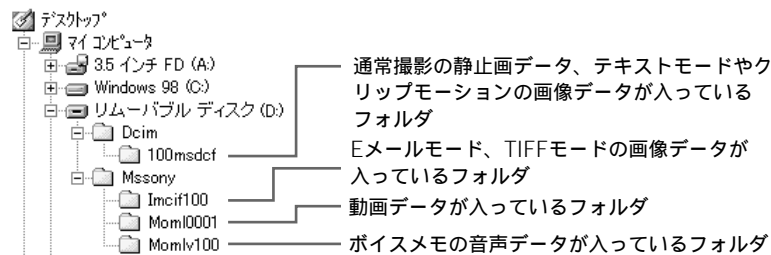
デスクトップ
マイ コンピュータ
3.5 インチ FD (A:) ― 通常撮影の静止画データ、テキストモードやクリップモーションの画像データ、動画データなどが入っている
E-mail ― Eメールモードの画像データが入っているフォルダ
Voice ― ボイスメモの音声データが入っているフォルダ
(C:)

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
3.5インチFD（A:）	MVC-□□□∆.JPG	•通常撮影した静止画ファイル •以下で撮影した静止画ファイル —Eメールモード（51ページ） —ボイスメモモード（51ページ）
	MVC-□□□∆.411	インデックス表示用ファイル 本機以外で再生できません。
	MVC-□□□∆.MPG	動画ファイル

この場所の中にある	このファイルは	こういう意味
3.5インチFD（A:）	MVC-□□□△.GIF	以下で撮影した画像ファイル —テキストモード（52ページ） —クリップモーションモード（49ページ）
	MVC-□□□△.THM	以下で撮影した画像ファイルのインデックス画像ファイル —テキストモード（52ページ） —クリップモーションモード（49ページ）
［E-mail］フォルダ	MVC-□□□E.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（51ページ）
［Voice］フォルダ	MVC-□□□A.MPG	ボイスメモモードで撮影した音声ファイル（51ページ）

- 下記のファイルの数字部分は同じになります。
  – Eメールモードで撮影した画像ファイルとその小サイズ画像ファイル
  – ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
  – テキストモードで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
  – クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
- テキストモード、クリップモーションで撮影したインデックス表示用ファイルは本機でのみ再生することができます。

“メモリースティック”使用時のファイルの保存先とファイル名

□□□□には0001から9999の数字が入ります。

Windows 98で見たときの例（本機が認識されたドライブはD）

このフォルダの中にある	このファイルは	こういう意味
100msdcf	DSC0□□□□.JPG	•通常撮影した静止画ファイル •以下で撮影した静止画ファイル —Eメールモード（51ページ） —TIFFモード（53ページ） —ボイスメモモード（51ページ）
	CLP0□□□□.GIF	ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイル（49ページ）
	CLP0□□□□.THM	ノーマルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	MBL0□□□□.GIF	モバイルモードで撮影したクリップモーションファイル（49ページ）
	MBL0□□□□.THM	モバイルモードで撮影したクリップモーションファイルのインデックス画像ファイル
	TXT0□□□□.GIF	テキストモードで撮影した静止画ファイル（52ページ）
	TXT0□□□□.THM	テキストモードで撮影した静止画ファイルのインデックス画像ファイル
Imcif100	DSC0□□□□.JPG	Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイル（51ページ）
	DSC0□□□□.TIF	TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイル（53ページ）

このフォルダの中にある	**このファイルは**	**こういう意味**
MomI0001	MOV0□□□□.MPG	通常撮影した動画ファイル
Momlv100	DSC0□□□□.MPG	ボイスメモモードで撮影した音声ファイル（51ページ）

下記のファイルの数字部分は同じになります。

– Eメールモードで撮影した小サイズ画像ファイルとその画像ファイル
– TIFFモードで撮影した非圧縮画像ファイルとその画像ファイル
– ボイスメモモードで撮影した音声ファイルとその画像ファイル
– テキストモードで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル
– クリップモーションで撮影した画像ファイルとそのインデックス画像ファイル

ちょっと一言

デジタルスチルカメラは撮影した画像をデジタルデータで保存します。このデジタルデータの形式をファイル形式といい、本機は以下の形式を採用しています。

JPEG形式

ほとんどのデジタルスチルカメラやパソコンのOS/ブラウザソフトで採用されている画像圧縮形式です。撮影した画像データを、見た目をあまり変えずに圧縮/保存できます。反面、圧縮/保存をくりかえすと画像が劣化します。本機では通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存します。

GIF形式

圧縮/保存をくり返しても画像が劣化しない画像の圧縮形式です。色を256色に制限します。本機ではクリップモーションモード（49ページ）、テキストモード（52ページ）での撮影時にGIF形式で画像を保存します。

TIFF形式

撮影した画像データを圧縮せずに保存するので画像が劣化しません。ほとんどのパソコンのOSやソフトウェアに対応できます。本機では、TIFFモード（53ページ）での撮影時にTIFF形式で画像を保存します。

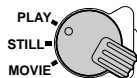
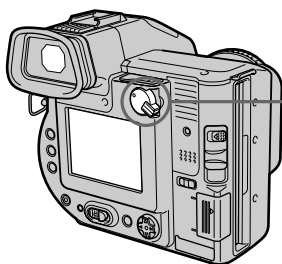
MPEG形式

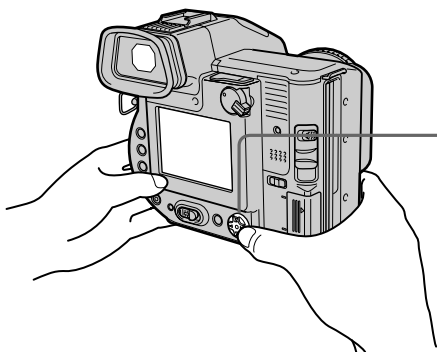
動画の代表的な圧縮形式です。本機では動画撮影時とボイスメモ（51ページ）での撮影時に、音声をMPEG形式で保存します。

応用操作の前に

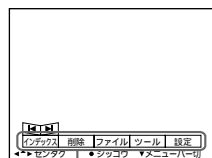
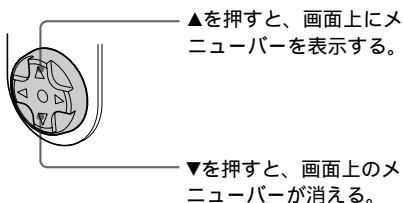
ここでは、「応用操作」でよく使われるスイッチやボタンの使いかたをまとめて説明します。

PLAY/STILL/MOVIEスイッチの使いかた

本機を使って撮影するのか、再生・編集するのかを切り換えるスイッチです。操作を始める前に、あらかじめ以下のように切り換えます。

コントロールボタンの使いかた

本機はコントロールボタンで画面上のボタンや画像、メニューを選び操作します。ここでは応用操作編でよく使われる操作方法を説明します。

画面上の操作ボタン（メニューバー）を表示／消去する

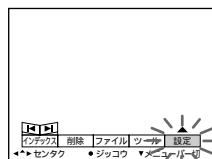
▲を押すと、画面上にメニューバーを表示する。

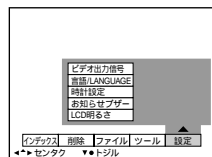
▼を押すと、画面上のメニューバーが消える。

ご注意

インデックス画面表示（61ページ）のとき、メニューバーを消すことはできません。

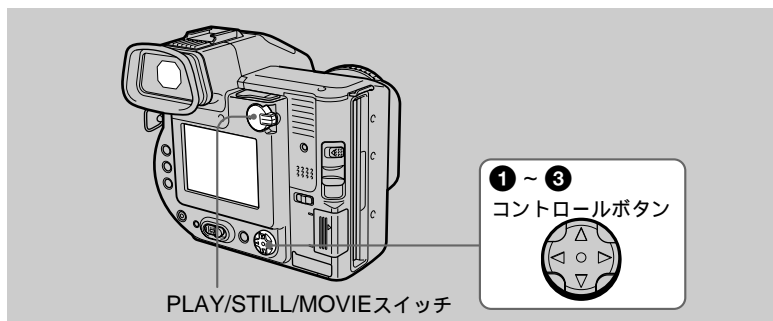
画面上の項目や画像を選択する

❶ コントロールボタンの▲/▼/◄/►を押し、設定したい項目や表示したい画像を選ぶ。

選ばれた項目や画像の枠は青色から黄色に変わります。

❷ コントロールボタンの中央の●を押して、決定（実行）する。

❶と❷を繰り返して各機能を操作します。

この取扱説明書の応用操作編では、上記の手順で項目を選び、実行することを「[(項目名)] を選択する」と表記しています。

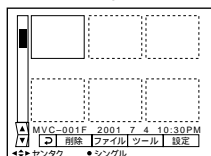
メニューでの設定の変えかた

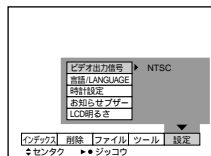
本機の応用操作の一部は、画面上に表示されるメニュー項目をコントロールボタンで選択して操作します。

❶ コントロールボタンの▲を押してメニューバーを表示する。

メニューバーはPLAY/STILL/MOVIEスイッチの設定によって、下記のように変わります。

「STILL」または「MOVIE」のとき

「PLAY」（シングル画面表示）のとき

「PLAY」（インデックス画面表示）のとき

❷ コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で選択したい項目を選び、中央の●を押す。

各項目は、選択されると青色から黄色に変わり、コントロールボタンの中央の●を押すと、設定できる項目が表示されます。

ご注意

MS/FDスイッチの位置によって、表示される項目が変わります。

❸ コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で希望の設定項目を選び、中央の●を押す。

中止するには

コントロールボタンの▼を手順❶のメニューバー表示画面に戻るまで押します。メニューバーを消したいときは、もう1度押します。

設定項目の説明

PLAY/STILL/MOVIEスイッチやMS/FDスイッチの位置によって操作できる項目は変わります。画面には、使える項目のみが表示されます。■印はお買い上げ時の設定です。

(セルフタイマー)

セルフタイマー撮影をする(22ページ)。

エフェクト

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ピクチャーエフェクト	ソラリ モノトーン セピア ネガアート ■ 切	画像の特殊効果を設定する(60ページ)。	「STILL」 「MOVIE」
日付/時刻	日時分 年月日 ■ 切	画像に日付や時刻を挿入するかどうか設定する(60ページ)。	「STILL」

ファイル

項目-1	項目-2	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
ディスクツール(MS/FDスイッチが「FD」のとき)	フォーマット	実行	フロッピーディスクを初期化(フォーマット)する(72ページ)。初期化すると、プロテクトしてある画像もふくめて、フロッピーディスクに記録されているすべての画像が消去されます。ご注意ください。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
		キャンセル	中止する。	
	ディスクコピー	実行	フロッピーディスクのすべての内容を他のフロッピーディスクにコピーする(70ページ)。	
		キャンセル	中止する。	
	キャンセル		[フォーマット]または[ディスクコピー]を中止して、[ディスクツール]に戻る。	

応用操作の前に（つづき）

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
フォーマット（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	実行 キャンセル	“メモリースティック”を初期化（フォーマット）する。初期化すると、プロテクトしてある画像もふくめて、“メモリースティック”に記録されているすべての画像が消去されます。ご注意ください。 中止する。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
ファイル番号	連番 ■ 標準	フロッピーディスクまたは“メモリースティック”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。フロッピーディスクと“メモリースティック”の間では連続しません。ご注意ください。 フロッピーディスクまたは“メモリースティック”ごとにファイル番号を001または0001から付ける。	「STILL」 「MOVIE」
クリップモーション	 160×120（ノーマル） 80×72（モバイル） キャンセル	GIF形式のアニメーション作成用の画像サイズとコマ数を設定する（49ページ）。 10コマまで撮影可能。 2コマまで撮影可能。 中止する。	「STILL」
画像サイズ（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	■ 1600×1200 1600（3:2） 1600（ECM） 1024×768 640×480	静止画撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
画像サイズ（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	■ 1600（FINE） 1600（3:2）F 1024（FINE） 640（FINE）	静止画撮影時に画像のサイズを選ぶ。	「STILL」
画像サイズ	320×240 ■ 160×112	動画撮影時にMPEG画像のサイズを選ぶ。	「MOVIE」

ファイル

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
撮影モード	TIFF テキスト ボイスメモ Eメール ■ 通常撮影	MS/FDスイッチが「MS」のとき、JPEGファイルと別にTIFF(非圧縮)ファイルを記録する。 GIFファイルで白黒撮影する。 JPEGファイルと別に、音声ファイル(静止画付き)を記録する。 設定されている画像サイズと別に小サイズ(320×240)のJPEGファイルを記録する。 通常の撮影をする。	「STILL」
記録時間	15秒 10秒 ■ 5秒	動画撮影時の記録時間を選ぶ。	「MOVIE」
スライドショー(シングル画面のときのみ)	間隔設定 繰り返し スタート キャンセル	スライドショーの間隔を設定する。 ■3秒／5秒／10秒／30秒／1分 スライドショーを繰り返す。(フロッピーディスク使用時は20分まで) ■入／切 スライドショーを実行する。 スライドショーの設定および実行を中止する。	「PLAY」
プリントマーク	入 ■ 切	プリントしたい静止画像を選ぶ(71ページ)。 画像のプリントマークをとる。	「PLAY」
プロテクト	入 ■ 切	画像に誤消去防止指定をする(65ページ)。 誤消去防止指定を解除する。	「PLAY」

カメラ

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
デジタルズーム	■ 入 切	デジタルズームを使う。 デジタルズームを使わない。	「STILL」
シャープネス	+2〜−2	画像のシャープネスを調節する。設定を0にしていないときは、画面にが出る。	「STILL」
フラッシュレベル	明 ■ 標準 暗	フラッシュの発光量を通常より多くする。 通常の設定。 フラッシュの発光量を通常より少なくする。	「STILL」
EV補正	+2.0EV〜−2.0EV	撮影前に露出を調節する。	「STILL」 「MOVIE」

ツール

項目	設定	意味	PLAY/STILL/ MOVIEスイッチ
コピー（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	FD → FD FD → MS キャンセル	フロッピーディスクにコピーする。 “メモリースティック”にコピーする。 画像のコピーを中止する（68、69ページ）。	「PLAY」
コピー（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	MS → MS MS → FD キャンセル	“メモリースティック”にコピーする。 フロッピーディスクにコピーする。 画像のコピーを中止する（68、69ページ）。	「PLAY」
リサイズ（MS/FDスイッチが「FD」のとき）	1600×1200 1024×768 640×480 キャンセル	シングル画面表示のとき、撮影した静止画の画像サイズを変更する（67ページ）。	「PLAY」
リサイズ（MS/FDスイッチが「MS」のとき）	1600（FINE） 1024（FINE） 640（FINE） キャンセル	シングル画面表示のとき、撮影した静止画の画像サイズを変更する（67ページ）。	「PLAY」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL/ MOVIEスイッチ
デモモード	■ 入/スタンバイ 切	外部電源使用時のみ表示される項目。お買い上げ時は、[スタンバイ]に設定されている。電源を入れ、PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「STILL」または「MOVIE」にしたまま約10分放置すると、デモンストレーションが始まる。電源を切ると終了する。	「STILL」 「MOVIE」
ビデオ出力信号	NTSC PAL	ビデオ出力信号をNTSCモードに設定する（日本、米国など）。 ビデオ出力信号をPALモードに設定する（欧州など）。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
言語/LANGUAGE	ENGLISH ■ 日本語／JPN	メニュー項目を英語で表示する。 メニュー項目を日本語で表示する。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
時計設定	－	時計を合わせ直す（13ページ）。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」

設定

項目	設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
お知らせブザー	シャッター ■ 入 切	シャッターボタンを押したとき、シャッター音が鳴る。 コントロールボタン／シャッターボタンを押したときなどに、ブザー／シャッター音が鳴る。 音は鳴らない。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」
LCD明るさ	▌▌▌▌▌▌▌▌▌▌	画面上の＋／－ボタンで液晶画面の明るさを調節する。	「PLAY」 「STILL」 「MOVIE」

インデックス（シングル画面のときのみ）

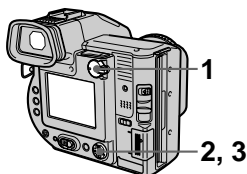
インデックス画面表示にする。

削除（シングル画面のときのみ）

設定	意味	PLAY/STILL/MOVIEスイッチ
実行	表示中の画像を削除する。	「PLAY」
キャンセル	削除を中止する。	

⮌（戻る）（インデックス画面のときのみ）

シングル画面表示に戻る。

画像サイズを設定する

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［画像サイズ］の順に選択する。

3 画像サイズを選択する。

静止画の場合：

• MS/FDスイッチが「FD」のとき
1600×1200、1600(3:2)*、1600(ECM)、1024×768、640×480

(ECM)：画質は劣化しますが、記録枚数が増えます。画質を優先する場合は［1600×1200］を選んでください。

• MS/FDスイッチが「MS」のとき
1600(FINE)、1600(3:2)F*、1024(FINE)、640(FINE)

(FINE)："メモリースティック"に記録される画像はより高画質になります。ファイルサイズはフロッピーディスクの記録時より大きくなります。

* プリント紙の横縦比3：2に合うように、画像を3：2で撮影します。プリントしたときに余白が出ません。撮影時には、液晶画面またはファインダー（横縦比4：3）に映った撮影範囲の上下を切って画像を記録しますのでご注意ください。

動画の場合：
320×240、160×112

フロッピーディスクまたは"メモリースティック"(8 MB) 1枚に記録できる枚数または時間は

画像サイズ	撮影枚数または撮影時間*	
	フロッピーディスク	"メモリースティック"
1600×1200	約4枚	約8枚
1600(3:2)	約4枚	約8枚
1600(ECM)	約8枚	—
1024×768	約10枚	約20枚
640×480	約30枚	約48枚
320×240	約15秒	約80秒(約15秒**)
160×112	約60秒	約320秒(約60秒**)

* 撮影モードが［通常撮影］の場合
** 連続撮影時最大記録時間

ご注意

• ディスク残量表示が残っていても、1枚のフロッピーディスクに55枚以上記録しようとすると「ディスクがいっぱいです」が出て撮影不能になります。
• "メモリースティック"残量表示が残っていても、1枚の"メモリースティック"に3001枚以上記録しようとすると「メモリースティックの残量がありません」が出て撮影不能になります。
• テキストモードでは、［1600(ECM)］を選んでも、記録できる画像の数は［1600×1200］と同じです。

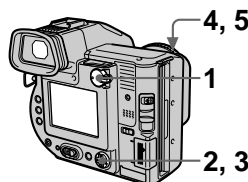
ちょっと一言

デジタルスチルカメラでは撮影画像のサイズを1600×1200ピクセル、というふうに「ピクセル」で表します。ピクセル数は大きいほど画像情報が多く、パソコンでの画像加工や大判プリントに向いています。小さければEメール添付などに便利です。通常、デジタルスチルカメラの画像はパソコンモニターのサイズに合わせて横縦比4：3で撮影されますが、本機ではプリンターの用紙サイズ（3：2）も選択できます。これは、街のDPEショップで写真を現像したときと同じサイズです。

1600×1200

1600（3：2）

クリップモーションを作成する

クリップモーションは静止画像が連続再生されるアニメーション機能です。保存形式はGIF形式で、ホームページ作成やEメール添付に便利です。本機では約0.5秒間隔で再生されます。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［ファイル］→［クリップモーション］の順に選択する。**

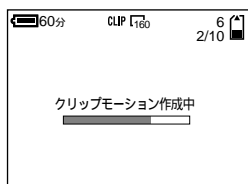
3 **希望のモードを選択する。**

160×120**（ノーマル）**
最大10コマのクリップモーションを撮影できます。
ホームページなどでのご利用に適しています。

80×72**（モバイル）**
最大2コマのクリップモーションを撮影できます。
携帯端末などでのご利用に適しています。

キャンセル
クリップモーションの作成を中止します。

応用操作　いろいろな撮影

4 1コマ目の撮影をする。

5 次のコマを撮影する。

撮影可能最大枚数まで繰り返し撮影できます。
［終了］を選択するか、最大枚数を撮り終えると自動的に記録されます。

クリップモーション作成をやめるには

手順**3**のあとで［戻る］を選択します。1コマでも撮影すると、クリップモーションの作成をやめることはできません。

フロッピーディスクまたは“メモリースティック”(8 MB)1枚に記録できるクリップモーションの枚数は

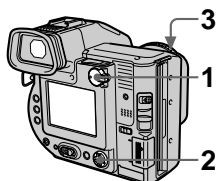
画像サイズ	枚数	
	フロッピーディスク	“メモリースティック”
160×120（ノーマル）	約7枚*	約40枚*
80×72（モバイル）	約54枚**	約400枚**

* 10コマ撮影した場合
** 2コマ撮影した場合

ご注意

- データの書き込み／読み出しに、通常撮影よりも時間がかかります。
- クリップモーション画像は、GIF形式の制限により、256色以下の色数に減色されています。従って画像によっては画質が落ちる場合があります。
- モバイルモードでは、ファイルサイズを小さく抑えているため画質が落ちます。
- 本機以外で作成したGIFファイルは正しく表示されない場合があります。

Eメールに適した静止画を撮る – Eメールモード

静止画と同時に小サイズ（320×240）の画像を記録します。小サイズ画像はEメール添付時に便利です。保存形式はJPEG形式です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［Eメール］の順に選択する。

3 撮影する。

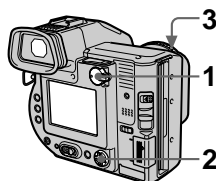
Eメールモード時、フロッピーディスクまたは“メモリースティック”（8 MB）1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数	
	フロッピーディスク	“メモリースティック”
1600×1200	約3枚	約8枚
1600（3:2）	約3枚	約8枚
1600（ECM）	約7枚	—
1024×768	約8枚	約20枚
640×480	約22枚	約44枚

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

静止画に音声をつけて撮る – ボイスメモ

保存形式は静止画がJPEG方式、音声がMPEG方式です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［ボイスメモ］の順に選択する。

3 撮影する。

シャッターをポンと1回押すと
5秒間音声が記録されます。
シャッターを押し続けると
押し続けている間、最長40秒間音声が記録されます。

ボイスメモ撮影時、フロッピーディスクまたは“メモリースティック”（8 MB）1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数*	
	フロッピーディスク	“メモリースティック”
1600×1200	約3枚	約7枚
1600（3:2）	約3枚	約7枚
1600（ECM）	約5枚	—
1024×768	約6枚	約17枚
640×480	約12枚	約34枚

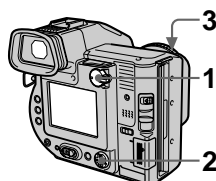
* 音声記録5秒の場合

通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

書類などの文字を撮る

ー テキストモード

文字がはっきりと映るように、GIF(ジフ)形式でモノクロ記録します。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［テキスト］の順に選択する。

3 撮影する。

テキストモード時、フロッピーディスクまたは“メモリースティック”(8 MB)1枚に記録できる枚数は

画像サイズ	撮影枚数*	
	フロッピーディスク	“メモリースティック”
1600×1200	最少4枚	最少25枚
1600(3:2)	最少5枚	最少28枚
1600(ECM)	最少4枚	—
1024×768	最少11枚	最少61枚
640×480	最少28枚	最少160枚

* 文字の量など内容によって撮影最大枚数は変わります。

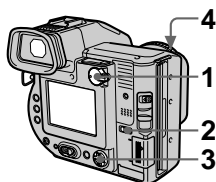
通常撮影モードに戻るには

手順**2**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- 被写体に均等に光が当たらないと、うまく撮影できないことがあります。
- データの書き込み／読み出しに通常撮影よりも時間がかかります。

画像に圧縮をかけないで撮る – TIFFモード

“ メモリースティック ”使用時に静止画をTIFF形式（非圧縮）とJPEG形式（圧縮）で同時に記録します。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 MS/FD**スイッチを「**MS**」にする。**

3 **メニューから［ファイル］→［撮影モード］→［**TIFF**］の順に選択する。**

4 **撮影する。**

TIFF**モード時、“ メモリースティック ”**(8 MB)1**枚に記録できる枚数は**

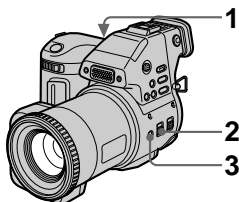
画像サイズ	**枚数**
1600×1200	1枚
1600（3：2）	1枚

通常撮影モードに戻るには

手順**3**で［通常撮影］を選択します。

ご注意

- JPEG画像は、48ページで選ばれている画像サイズで記録されます。TIFF画像は[1600（3：2）F]を選んでいるとき以外は[1600×1200]で記録されます。
- データの書き込みに通常撮影よりも時間がかかります。

被写体に接近して撮る
ー マクロ撮影

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 FOCUS AUTO/MANUAL**スイッチを「**AUTO**」にする。**

3 **（マクロ）ボタンを押す。**

画面にが表示されます。
ズームをW側いっぱいに合わせると、約2 cmまでマクロ撮影ができます。

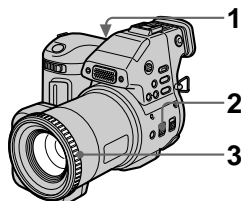
通常の撮影モードに戻すには

もう1度（マクロ）ボタンを押します。が消えます。

ご注意

- 次のプログラムAEのモードのときは、マクロ撮影ができません。
  ー風景モード
  ーパンフォーカスモード
- 表示が出たときは、マクロ撮影できません。

手動でピントを合わせる

通常は、自動的にピントの調節が行われています。暗いところで自動ピント調節が効きにくいときにこの機能を使うと便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 FOCUS AUTO/MANUAL**スイッチを「**MANUAL**」にする。**

手動ピント合わせ表示が表示されます。

3 **フォーカスリングを回して、ピントの合う位置に調節する。**

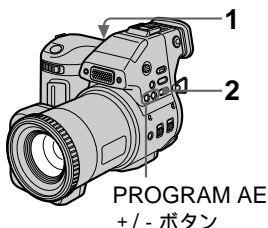
静止画撮影時は液晶画面またはファインダーの画像が2倍*に拡大され、フォーカス距離情報が表示されます。調節が終わると元に戻ります。
2 cm〜∞（無限遠）の間で調節できます。
* デジタルズーム使用時は、2倍よりも小さくなります。

自動調節に戻すには

FOCUS AUTO/MANUALスイッチを「AUTO」に合わせます。

ご注意

- フォーカス距離情報は正確な距離ではありません。目安として使用してください。
- コンバージョンレンズ装着時はフォーカス距離情報が正しく表示されません。
- ズームレバーがT側にある場合、約0.8 m以内のフォーカスが正しく合わないことがあります。その場合、フォーカス距離情報が点滅します。点滅しなくなるまで、ズームレバーをW側に動かしてください。
- プログラムAEのパンフォーカスモードを選んでいるときは、この機能は使えません。

目的に合わせて撮る
ー プログラムAE

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 PROGRAM AE**ボタンを繰り返し押して、希望のモードの表示を出す。**

AEA アイリス(絞り)優先AE**モード**

意図的に、背景をぼかして被写体を際立たせたり、被写体と背景を際立たせたりすることができます。
PROGRAM AE+/−ボタンを繰り返し押して、F2.8からF11まで9段階の中からアイリス値を選びます。

AES シャッタースピード優先AE**モード**

意図的に、動きのある被写体の一瞬の動きや被写体の流動感を撮影することができます。
PROGRAM AE+/−ボタンを繰り返し押して、静止画のときは8"から1/500まで17段階の中から、動画のときは1/8から1/500まで11段階の中からシャッタースピードを選びます。

☽夜景モード
暗い場所での明るい被写体の色とびをおさえ、暗い雰囲気を損なわずに撮影することができます。

☽+夜景プラスモード
夜景モードの機能をさらに効果的に使用することができます。

風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。

パンフォーカスモード
気軽に近くの被写体から遠くの被写体にピントを合わせることができます。

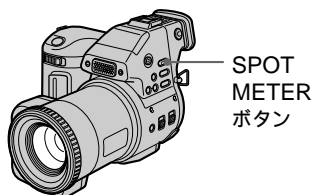
プログラムAEを解除するには
PROGRAM AEボタンを繰り返し押して、画面上のプログラムAE表示を消します。

ご注意

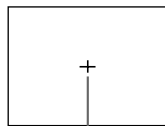
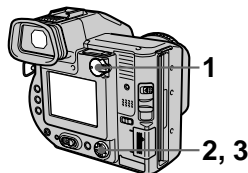
- 風景モードでは、遠景のみにピントが合うようにフォーカスをコントロールします。
- パンフォーカスモードでは、ズームをW側いっぱいにし、フォーカスを固定します。
- 夜景プラスモードで撮影するときは、手ぶれを防ぐため三脚の使用をおすすめします。
- 次のモードでフラッシュを使うときは、強制発光⚡にしてください。
  －夜景モード
  －夜景プラスモード
  －風景モード
- テキストモードで撮影するとき、プログラムAEは選べません。
- アイリス優先AEモード、シャッタースピード優先AEモードで設定が適正でないと液晶画面またはファインダーの設定値表示が点滅します。このときは再度設定し直してください。

ちょっと一言
通常の撮影時、本機は周囲の環境にあわせて、ピントやアイリス（絞り）、露出、ホワイトバランスなどを自動調整しています。しかし、この自動調整では撮影意図どおりの画像を撮影できないことがあります。プログラムAEは、あらかじめ撮影状況を想定して最適な調整をプログラムした、いわば半自動調整機能です。

スポット測光モードを使う

逆光のときや被写体と背景とのコントラストが強いときに選びます。

SPOT METERボタンで全体測光、スポット測光の切り換えをする。

撮りたいポイントをスポット測光照準に合わせて撮ります。

液晶画面／ファインダー

露出を補正する – EV補正

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「STILL」または「MOVIE」にする。**

2 **メニューから［カメラ］→［EV補正］の順に選択する。**

3 **明るさを選択する。**

背景の映像の明るさを確認しながら調節してください。
1/3 EVごとに+2.0 EVから−2.0 EVまで変えられます。

ご注意

被写体が極端に明るいときや暗いとき、およびフラッシュ使用時には、設定した補正が効かない場合があります。

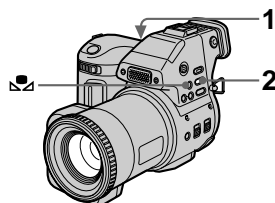
ちょっと一言

通常の撮影時、本機は自動で露出を補正しています。撮影画像を確認し、下のイラストのようになっていたら、左記の手順で手動調節することをおすすめします。暗い被写体は＋の方向に、明るい被写体には－方向に調節すると効果的です。

露出不足。
＋方向へ調節。

露出過剰。
－方向へ調節。

自然な色合いに調節する
ー ホワイトバランス

通常は、自動的にホワイトバランスの調節が行われています。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 WHITE BALANCE**ボタンを繰り返し押して、ホワイトバランスの設定を選択する。**

ワンプッシュホワイトバランス（）

光源に合わせてホワイトバランスを一定の設定にするとき

屋外（☀）

- 夜景やネオン、花火などを撮るとき
- 日の出、日没などを撮るとき

屋内（）

- パーティー会場など照明条件が変化する場所
- スタジオなどビデオライトの下
- ナトリウムランプや水銀灯の下

オート（表示なし）

ホワイトバランスを自動調節する

(ワンプッシュホワイトバランス)モードで撮る

① WHITE BALANCEボタンを繰り返し押して、表示を選ぶ。

② 被写体を照らす照明条件と同じ所に白い紙などを置き、画面いっぱいに映す。

③ ボタンを押す。
表示が速い点滅に変わる。
ホワイトバランスが調整されてカメラに記憶されると、点灯に変わる。

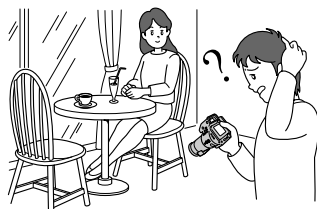
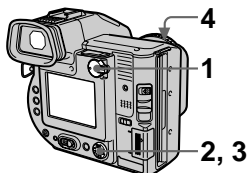
自動調節に戻すには

手順**2**で［オート］を選択します。

ご注意

- 蛍光灯の下で撮影するときは[オート]を選択します。
- 表示について
遅い点滅：ホワイトバランスが未設定
速い点滅：ホワイトバランス調整中
点灯：ホワイトバランス設定終了
- ボタンを押しても表示が点滅から点灯に変わらない場合は[オート]で撮影します。

ちょっと一言

被写体の見ための色は、光の状況に影響されます。夏の太陽のように温度の高い光の下ではすべてのものが青っぽく見え、電球のような温度の低い光源の下では白いものが赤っぽく見えます。人間の目にはすぐれた調節機能があり、光が変わってもすぐに正しい色を認識できます。しかし、デジタルスチルカメラは光の影響を大きく受けます。通常本機は調節を自動で行なっていますが、撮影画像を再生してみて画面全体が不自然に赤い場合などはホワイトバランスの設定をすることをおすすめします。

静止画に日付や時刻を入れる ー 日付／時刻

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」にする。**

2 **メニューから［エフェクト］→［日付/時刻］の順に選択する。**

3 **日付・時刻の設定を選択する。**

日時分
画像に日時分を挿入する。

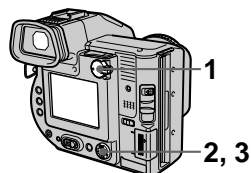
年月日
画像に年月日を挿入する。

切
画像に日付・時刻を挿入しない。

4 **撮影する。**
撮影時は日付や時刻は表示されません。再生時に表示されます。

ご注意

- 手順**3**で［年月日］を選んだ場合、「日付・時刻を合わせる」(13ページ)で選んだ表示順の年月日が挿入されます。
- クリップモーションでは、日付・時刻は挿入されません。

画像に特殊効果を与える ー ピクチャーエフェクト

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**STILL**」または「**MOVIE**」にする。**

2 **メニューから［エフェクト］→［ピクチャーエフェクト］の順に選択する。**

3 **希望のモードを選ぶ。**

ソラリ
明暗をはっきりさせたイラストのように

モノトーン
白黒に

セピア
古い写真のような色合いに

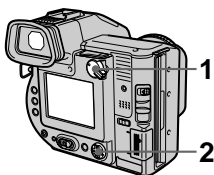
ネガアート
写真のネガフィルムのように

切
ピクチャーエフェクトを使用しない。

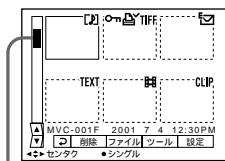
ピクチャーエフェクトを解除するには

手順**3**で［切］を選択します。

6画面表示する

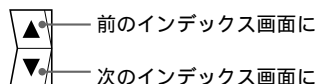
ー インデックス画面表示

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にする。**

2 **画面上の［インデックス］を選択する。**

6枚の画像が一度に再生されます（インデックス画面）。
クリップモーションファイルは最初の1コマ目だけが再生されます。

現在表示されている画像が全体の撮影枚数のどの部分にあたるか示す

画像の種類と設定により、次のマークが画像に表示されます。
：動画ファイル
：ボイスメモファイル
： Eメールファイル
： プリントマーク
： プロテクトマーク
TEXT：テキストファイル
TIFF：TIFFファイル
CLIP：クリップモーションファイル
（表示なし）：通常撮影の静止画

次（前）のインデックス画面を表示するには

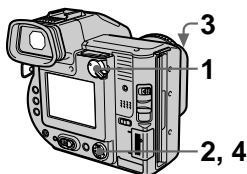
画面左下の▲/▼を選択します。

シングル（1枚表示）画面にするには

- コントロールボタンで見たい画像を選択します。
- （戻る）を選択します。

ご注意

クリップモーションやテキストモードで撮影した画像をインデックス画面で見ると、実際の画像とは違って見える場合があります。

静止画の一部を拡大する

ー 再生ズーム／トリミング

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にする。**

2 拡大したい画像を表示する。

3 ズームレバーで画像をお好みの大きさにする。

ズーム倍率表示が出ます。

4 コントロールボタンを繰り返し押して、拡大部分を選択する。

▲：画像が下に移動します。
▼：画像が上に移動します。
◀：画像が右に移動します。
▶：画像が左に移動します。

拡大表示をやめるには

ズーム倍率表示（🔍×1.1）が消えるまで、画像を縮小するか、コントロールボタンの●を押します。

拡大した画像を記録する（トリミング）

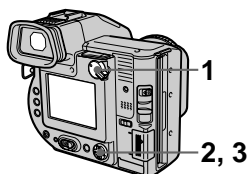
再生ズーム後にシャッターボタンを押すと、画像が640×480サイズで記録され、拡大前の画像表示に戻ります。

ご注意

- 動画やテキストモード、クリップモーションで撮影した画像と非圧縮画像はトリミングできません。
- ズーム倍率は画像サイズに関係なく、元の画像の5倍までです。
- トリミングした画像は画質が劣化するおそれがあります。
- トリミングしても元の画像は残ります。
- トリミングした画像は一番新しいファイルとして記録されます。

静止画を順番に再生する

ー スライドショー

記録された画像のチェックやプレゼンテーションなどに便利です。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にする。**

2 メニューから［ファイル］→［スライドショー］の順に選択する。

下記の設定を選択する。

間隔設定

3秒、5秒、10秒、30秒、1分

繰り返し

入：［戻る］を選択するまで、繰り返し再生される（フロッピーディスク使用時は約20分*)。

切：すべての画像が再生されると、スライドショーは終わる。

* すべての画像をひととおり再生し終わるまでは、20分を超えても終了しません。

3［スタート］を選択する。

スライドショーが始まります。

スライドショーの設定を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

スライドショー再生中に画像を送る／戻すには

画面左下の**I◀/▶I**を選択します。

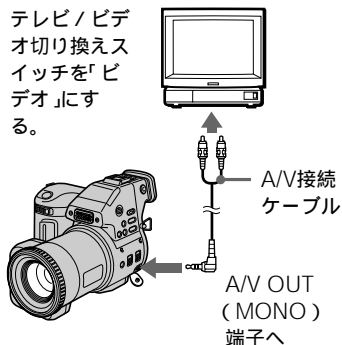
ご注意

［間隔設定］の設定時間は、目安です。画像サイズなどにより変わることがあります。

応用操作

いろいろな再生

テレビで見る

テレビの電源を切ってからA/V接続ケーブルをつなぎ、もう1度電源を入れてください。

1 A/V**接続ケーブルで本機の**A/V OUT（MONO）**端子とテレビのオーディオ／ビデオ入力端子を接続する。**

テレビの音声入力端子がステレオタイプのときはA/V接続ケーブルの音声用端子をL（左）に接続してください。

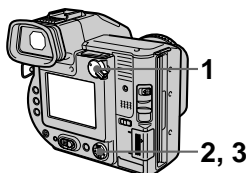
2 **テレビをつけ、本機で画像を再生する。**

テレビ画面に再生画像が映ります。

ご注意

ビデオ端子がないアンテナ入力端子だけのテレビには接続できません。

誤消去防止する
ー プロテクト

プロテクト（誤消去防止）した画像には⊶がつきます。

シングル画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、プロテクトをかけたい画像を表示する。**

2 **メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［入］の順に選択する。**

表示されている画像にプロテクトがかかり、⊶が表示されます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［切］を選択します。

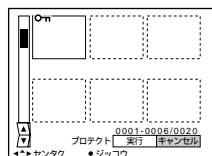
インデックス画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

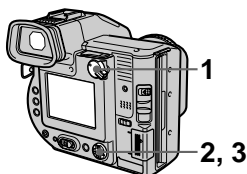
2 **メニューから［ファイル］→［プロテクト］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選択したときは**

［入］を選択する。
フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”に記録されている、すべての画像がプロテクトされます。

［選択画像］を選択したときは
プロテクトしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選んだ画像がプロテクトされます。

プロテクト指定を解除するには
手順**2**で［全画像］を選択したときは［切］を選択します。［選択画像］を選択したときは、プロテクトを解除したい画像をコントロールボタンで選んだあと［実行］を選択します。

画像を消す – 削除

プロテクトされた画像は削除できません。

シングル画面表示のとき

1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、削除したい画像を表示する。**

2 **メニューから［削除］→［実行］の順に選択する。**

画像が削除されます。

インデックス画面表示のとき

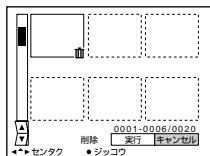
1 **PLAY/STILL/MOVIEスイッチを「PLAY」にして、インデックス画面表示にする。**

2 **メニューから［削除］→［全画像］または［選択画像］の順に選択する。**

3 **［全画像］を選択したときは**

［実行］を選択する。
プロテクトされていない画像がすべて削除されます。

［選択画像］を選択したときは

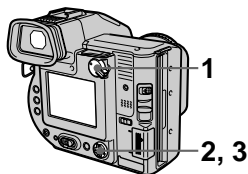
削除したい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。
選択した画像には🗑マークがつき、削除されます。

削除を中止するには

手順**2**または**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

削除したい画像のファイル名と下4桁が同じファイルが“ メモリースティック ”内に存在すると、同時に削除されます。

撮影した静止画のサイズを変える – リサイズ

Eメール添付するために小さな画像が必要なときなどに使います。リサイズ後の画像は最新ファイルとして記録されます。リサイズ前の画像はそのまま残ります。

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、サイズを変えたい画像を表示する。**

2 メニューから［ツール］→［リサイズ］の順に選択する。

3 変更したいサイズを選択する。

- MS/FDスイッチが「FD」のとき 1600×1200、1024×768、640×480
- MS/FDスイッチが「MS」のとき 1600（FINE）、1024（FINE）、640（FINE）

変更した画像が記録され、リサイズ前の画像表示に戻ります。

リサイズを中止するには

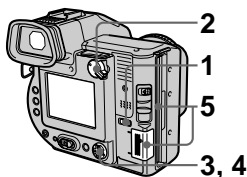
手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- 動画やテキストモード、クリップモーションで撮影した画像と非圧縮画像はリサイズできません。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画質が劣化します。

画像をコピーする
ー コピー

別のフロッピーディスクや“ メモリースティック ”に画像をコピーします。

シングル画面表示のとき

1 MS/FD**スイッチでコピー元のメディアを選択する。**

2 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、コピーしたい画像を表示する。**

3 メニューから［ツール］→［コピー］の順に選択する。

4 コピー先のメディアを選択する。

- MS/FDスイッチが「FD」のとき

  FD→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。
  FD→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。

- MS/FDスイッチが「MS」のとき

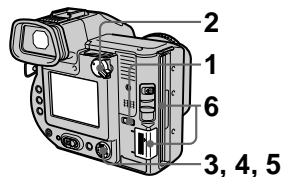
  MS→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。
  MS→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。

  本機にフロッピーディスクと“メモリースティック”を挿入して［FD→MS］または［MS→FD］を選択すると、自動的にコピーが始まります。

5 画面に表示される指示に従ってフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を挿入／交換する。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”にもコピーするときは
手順**5**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**5**を繰り返します。

インデックス画面表示のとき

1 MS/FD**スイッチでコピー元のメディアを選択する。**

2 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「**PLAY**」にして、インデックス画面表示にする。**

3 **メニューから［ツール］→［コピー］の順に選択する。**

4 **コピー先のメディアを選択する。**

- MS/FDスイッチが**「FD」**のとき
  FD→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。
  FD→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。

- MS/FDスイッチが**「MS」**のとき
  MS→MS：“メモリースティック”にコピーするとき。
  MS→FD：フロッピーディスクにコピーするとき。

5 **［全画像］を選択したときは***

［実行］を選択する。

* ［FD → FD］または［FD → MS］のコピー時のみ、選択できます。

［選択画像］を選択したときは**

コピーしたい画像をコントロールボタンですべて選択してから、［実行］を選択する。

選択した画像には✔マークがつきます。

** ［MS → FD］のコピー時には、［実行］を選択すると、必要なフロッピーディスクの枚数が表示されます。さらに［実行］を選択します。

6 **画面に表示される指示に従ってフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を挿入／交換する。**

「記録中」と表示されます。

「書き込み終了」と表示されたら完了です。

終了するときは［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”にもコピーするときは

手順**6**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**6**を繰り返します。

［MS→FD］を選択してコピーしているとき、1枚のフロッピーディスクに画像が入りきらないときは分割してコピーすることができます。

手順の途中で中止するときは

［中止］を選択します。

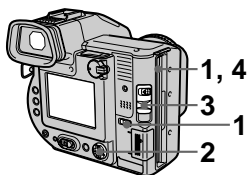
ご注意

- 非圧縮画像はコピーできません。
- 1枚の画像ファイルが約1.4 MBを超えるものはコピーできません。
- 画像ファイルが合計で約1.4 MBを超えるものは、1度にコピーできません。コピーしようとすると「コピーできる容量を超えています」と表示されます。インデックス画面表示のときは✔（コピー）マークが点滅します。ファイル数を減らしてからコピーしてください。
- 「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選ばずにフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を抜き差しすると画像がコピーされてしまいます。
- ［MS→FD］のコピー時に表示される必要なフロッピーディスクの枚数は、目安として使用してください。

フロッピーディスクのすべての情報をコピーする
ー ディスクコピー

撮影した画像だけでなく、パソコンで加工したファイルなども他のフロッピーディスクにコピーすることができます。

ご注意

- ディスクコピーをすると、コピー先のフロッピーディスクの内容はすべて消えます。プロテクトされているデータも消えるのでご注意ください。
- コピー先のフロッピーディスクは必ず本機で初期化してお使いください（72ページ）。

1 MS/FD**スイッチを「**FD**」にして、コピー元のフロッピーディスクを入れる。**

2 メニューから［ファイル］→［ディスクツール］→［ディスクコピー］→［実行］の順に選択する。

「アクセス中」と表示されます。

3 「ディスク交換」と表示されたら、コピー元のフロッピーディスクを取り出す。

4 「ディスク挿入」と表示されたら、コピー先のフロッピーディスクを入れる。

「記録中」と表示されます。
「書き込み終了」と表示されたら完了です。
終了するときは、［終了］を選択します。

さらに別のフロッピーディスクにもコピーするときは

手順**4**で「書き込み終了」と表示された後、［コピー続行］を選択し、手順**3**と**4**を繰り返します。

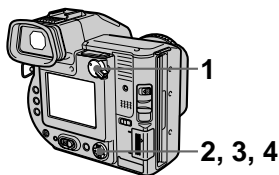
手順の途中で中止するときは

［中止］を選択します。

ご注意

「書き込み終了」と表示された後、［終了］を選択しないでフロッピーディスクを取り出して、もう1度入れると、そのフロッピーディスクにディスクコピーされてしまいます。

プリントしたい静止画を選ぶ ー プリントマーク

撮影した静止画の中からプリントしたい画像を指定することができます。DPOF（Digital Print Order Format）規格に対応しているお店で画像をプリントするときなどに便利です。

シングル画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、プリントしたい画像を表示する。**

2 メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［入］の順に選択する。

表示されている画像に（プリント）マークがつきます。

プリントマークを消すには

手順**2**で［切］を選択します。

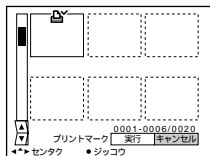
インデックス画面表示のとき

1 PLAY/STILL/MOVIE**スイッチを「PLAY」にして、インデックス表示画面にする。**

2 メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［選択画像］の順に選択する。

3 プリントマークをつけたい画像をコントロールボタンで選択する。

4 ［実行］を選択する。

（プリント）マークが緑色から白色に変わります。

プリントマークを消すには

手順**3**でプリントマークを消したい画像をコントロールボタンで選び、［実行］を選択します。

すべての画像のプリントマークを消すには

メニューから［ファイル］→［プリントマーク］→［全画像］→［切］の順に選択します。

すべての画像の（プリント）マークが消えます。

マビカプリンターFVP-1**でプリントするときは**

プリンターのPRESET SELECT SWを「PC」にセットします。

ご注意

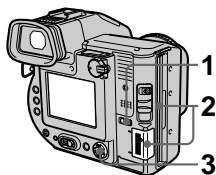
- 動画やテキストモードやクリップモーションで撮影した画像にはプリントマークは付けられません。
- TIFFモードで撮影した画像にプリントマークを付けると、非圧縮画像のみプリントされ、同時に記録されたJPEG画像はプリントされません。

フロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を初期化する

ー フォーマット

初期化するとフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”の内容はすべて失われます。初期化する前に内容を確認してください。

ご注意

画像がプロテクトされていても消去されますのでご注意ください。

1 **MS/FDスイッチで初期化するメディアを選ぶ。**

2 **初期化したいフロッピーディスクまたは“ メモリースティック ”を入れる。**

フォーマットするメディアのみ入れてください。

3 **メニューから［ファイル］を選択する。**

- **フロッピーディスク**を初期化するとき
［ディスクツール］→［フォーマット］→［実行］の順に選択する。
- **“ メモリースティック ”**を初期化するとき
［フォーマット］→［実行］の順に選択する。

初期化を中止するには

手順**3**で［キャンセル］を選択します。

ご注意

- **フロッピーディスク／“ メモリースティック ”**は必ず**本機**で**フォーマット**してください。USB**接続したパソコンからは、フォーマットできません。**
- 必ずバッテリーが満充電された状態か、ACパワーアダプターから電源をとっている状態で初期化してください。

本機をパソコンの外部ドライブとして使用する

USB接続ケーブルを使って本機とパソコンを接続すると、本機をフロッピーディスク/“メモリースティック”ドライブとして使用することができます。前もって付属のUSBドライバをインストールしておいてください（31ページ）。

例：Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professional**をお使いの場合**

1 **専用**USB**ケーブルを使ってパソコンに接続する。**

2 **本機の**MS/FD**スイッチでドライブの種類を選ぶ。**

フロッピーディスクドライブとして使用するときは、「FD」にします。
“メモリースティック”ドライブとして使用するときは、「MS」にします。

3 AC**パワーアダプターを接続して、本機の電源を入れる。**

4 Windows**上で「マイコンピュータ」を開き、「リムーバブルディスク」のアイコンを確認してから、外部ドライブとして使用する。**

ご注意

Windows Me、Windows 2000 Professionalをお使いの場合は、34ページのご注意もあわせてご覧ください。

使用上のご注意

お手入れについて

液晶画面やファインダーをきれいにする

液晶画面やファインダーに指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください 。

海岸やほこりの多い場所で使ったあとは

カメラをよく清掃してください。潮風で金属が腐食したり、砂ぼこりが内部に入ったりすると故障の原因になります。

フロッピーディスクについて

フロッピーディスクに記録されているデータなどを保護するため、次のことにご注意ください。

- テレビやスピーカー、磁石などの磁気を帯びたものに近づけないでください。フロッピーディスクに記録されているデータが消えてしまうことがあります。
- 直射日光のあたる場所や、暖房器具の近くに放置しないでください。フロッピーディスクが変形し、使用できなくなります。
- 手でシャッターを開けてディスクの表面に触れないでください。ディスク表面の汚れや傷により、データの読み書きができなくなることがあります。
- フロッピーディスクに液体をこぼさないでください。
- 大切なデータを守るため、フロッピーディスクは必ずケースなどに入れて保管してください。
- 3.5インチ2HDフロッピーディスクでも、使用環境によっては画像の読み書きができないものがあります。そのときは別の銘柄のフロッピーディスクをご使用ください。

動作温度について

本機の動作温度は約0℃～40℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起こりやすいのは

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき、など。

結露を起こりにくくするために

本機を寒いところから急に暖い所に持ち込むときは、ビニール袋に本機を入れて、空気が入らないように密閉してください。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

結露が起きたときは

フロッピーディスクを直ちに取り出してください。電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側についた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式ボタン電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入／切に関係なく保持するために充電式ボタン電池を内蔵しています。
充電式ボタン電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し半年程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。
ただし、充電式ボタン電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

充電方法

本機をACパワーアダプターを使ってコンセントにつなぐか、充電されたバッテリーを取り付け、電源を切った状態にして24時間以上放置する。

“ メモリースティック ”について

“ メモリースティック ”は、小さく軽く、しかもフロッピーディスクより容量が大きい新世代のIC記録メディアです。
“ メモリースティック ”には、一般の“ メモリースティック ”、著作権保護技術（マジックゲート*）を搭載した“ マジックゲート メモリースティック ”の2種類があります。
本機では“ マジックゲート メモリースティック ”と一般の“ メモリースティック ”のどちらもご使用いただけます。ただし、本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータは著作権の保護の対象にはなりません。

* “ マジックゲート ”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。

ご注意

- データの読み込み中、書き込み中には“ メモリースティック ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“ メモリースティック ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気やノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- ラベル貼り付け部には専用ラベル以外は貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。

• 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
• 分解したり、改造したりしないでください。
• 水にぬらさないでください。

“Memory Stick”(“メモリースティック”)、MEMORY STICK™、“MagicGate Memory Stick”(“マジックゲートメモリースティック”)およびMGはソニー株式会社の商標です。
“マジックゲート”および“MAGICGATE”はソニー株式会社の商標です。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーとは？

“インフォリチウム”バッテリーは、本機や別売りACアダプター／チャージャーとの間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
“インフォリチウム”バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。別売りACアダプター／チャージャーを使用すると、使用可能時間や充電終了時間も計算して表示します。

充電について

• 本機をご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。
• 周囲の温度が10～30℃の環境で、POWER ON/OFF(CHG)ランプが消える(満充電)まで充電することをおすすめします。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。
• 充電終了後は、ACパワーアダプターを本機のDC IN端子から抜くかバッテリーを取りはずしてください。

バッテリーの上手な使い方

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、次のことをおすすめします。
  - バッテリーをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前、本機に取りつける。
  - 高容量バッテリー「NP-F550（別売り）」を使用する。
- 液晶画面の使用やズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消耗が早くなります。高容量バッテリー「NP-F550（別売り）」のご使用をおすすめします。
- 本機で撮影または再生中は、こまめに電源スイッチを切るようにしましょう。
- 撮影には予定撮影時間の2〜3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしましょう。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などに濡らさないようにご注意ください。

バッテリーの残量表示について

- バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、再度満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。撮影時間の目安としてお使いください。
- バッテリー残量時間が約5〜10分でも、ご使用状況や周囲の温度環境によってはバッテリー残量が残り少なくなったことを警告する マークが点滅することがあります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために1年に1回程度満充電にして本機で使い切ってから湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、フロッピーディスクおよび“メモリースティック”を入れずに再生状態で電源が切れるまでそのままにしてください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをご購入ください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーパックごとに異なります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンターにお問い合わせください。
液晶画面またはファインダーに「C：□□：□□」のような表示が出たときは自己診断表示機能が働いています。85ページをご覧ください。

症状	原因	処置
操作を受け付けない。	“インフォリチウム”以外のバッテリーを使用している。	“インフォリチウム”バッテリーを使う（8ページ）。
	フロッピーディスクの位置がずれている。	フロッピーディスクを取り出して入れ直す（15ページ）。
	バッテリーが残り少ない（表示が出る）。	バッテリーを満充電する（9ページ）。
	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN端子とコンセントにしっかり差し込む（9、12ページ）。
	内部システムの誤動作。	電源を切り、1分後に電源を入れて、正しく動作するか確認する。
撮影ができない。	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「PLAY」になっている。	「STILL」または「MOVIE」にする（17、24ページ）。
	フロッピーディスクが入っていない。	フロッピーディスクを入れる（15ページ）。
	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止になっている。	書き込み可能にする（15ページ）。
	“メモリースティック”が入っていない。	“メモリースティック”を入れる（16ページ）。
	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチを解除する。
ピントがあっていない。	3 cm～25 cmで撮影するときに、マクロ撮影モードになっていない。	• マクロ撮影モードにする（54ページ）。 • ズームレバーで広角（W側）にする。
リサイズができない。	動画、テキスト画像、クリップモーション画像、非圧縮画像はリサイズできない。	–
プリントマークが付かない。	動画、テキスト画像、クリップモーション画像にはプリントマークを付けることができない。	–

症状	原因	処置
ノイズが入る。	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
画像が暗い。	逆光になっている。	画像の明るさを調節する(57ページ)。
	液晶画面が暗い。	液晶画面の明るさを調節する(20ページ)。
フラッシュ撮影ができない。	設定が⊘になっている。	(表示なし)または👁、⚡に設定する(23ページ)。
	プログラムAEの「夜景」または「夜景プラス」、「風景」モードになっている。	解除する(55ページ)。 または⚡に設定する(23ページ)。
	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「MOVIE」になっている。	「STILL」にする。
	フラッシュが上がっていない。	フラッシュを上げる(23ページ)。
正しい撮影日時が記録されない。	日付・時刻を合わせていない。	日付・時刻を合わせる(13ページ)。
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いた画像になる。	スミアという現象。	故障ではない。
ズームが効かない。	プログラムAEがパンフォーカスモードになっている。	解除する(55ページ)。
デジタルズームが効かない。	動画撮影中はデジタルズームが使えない。	−
	デジタルズームが[切]になっている。	メニューで[デジタルズーム]を[入]にする。
画像が白黒になっている。	テキストモードになっている。	通常撮影モードに戻す(52ページ)。
	ピクチャーエフェクトのモノトーンモードになっている。	ピクチャーエフェクトを解除する(60ページ)。
パソコンで再生できない。	−	パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
パソコンで再生すると画像や音が途切れる。	フロッピーディスクまたは"メモリースティック"から直接再生している。	パソコンのハードディスクにコピーをして、ハードディスクのファイルを再生する(29、34ページ)。
画像を消去できない。	プロテクトされている。	プロテクトを解除する(65ページ)。

症状	原因	処置
電源が途中で切れる。	PLAY/STILL/MOVIEスイッチが「STILL」または「MOVIE」でなにも操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。	電源を入れる。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを入れる。
テレビに画像が出ない。	本機の「ビデオ出力信号」の設定が正しくない。	設定を変える（46ページ）。
スライドショーが自動的に止まる。	フロッピーディスク使用時、スライドショーは約20分で止まる。	続けるときはもう1度［スタート］を選択する（63ページ）。
プログラムAEにならない。	テキストモードになっている。	解除する（52ページ）。
マクロ撮影ができない。	手動フォーカスになっている。	解除する（54ページ）。
	プログラムAEのパンフォーカスモードになっている。	解除する（55ページ）。
パソコンとUSB接続ができない。	バッテリーが残り少ない。	ACパワーアダプターを使用してください（12ページ）。
	本機の電源が入っていない。	電源を入れる。
	USBケーブルがしっかり差し込まれていない。	一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み、「USBモード」になっていることを確認する（31ページ）。
	パソコンのUSB端子に本機の他に機器が接続されている。	キーボード／マウス以外は取りはずしてみてください。
	MS/FDスイッチが挿入しているメディアとあっていない。	MS/FDスイッチをメディアにあわせる。
	USBドライバがインストールされていない。	USBドライバをインストールする（30ページ）。
	（Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 Professionalをお使いの場合） 付属のCD-ROMから「USBドライバ」をインストールする前に、USBケーブルで本機とパソコンを接続したため、ドライブが正しく認識されていない。	正しく認識されなかったドライブを削除してから、USBドライバをインストールする。詳しくは次ページの手順にしたがってください。

Windows 98、Windows 98SE、Windows Me、Windows 2000 ProfessionalとUSB 接続ができない場合のUSBドライバの再インストールのしかた

1 **パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する。**

2 **付属の専用USBケーブルで、本機のUSB端子とパソコンのUSB端子を接続する。**

3 **メディアを挿入し、挿入したメディアに合わせてMS/FDスイッチを設定する。**

4 **ACアダプターを接続して本機の電源を入れる。**

5 **パソコンの［デバイスマネージャ］を開く。**

Windows 98、Windows 98SE、Windows Me**をお使いの場合：**

① デスクトップ画面の［マイコンピュータ］から［コントロールパネル］を開き、［システム］をダブルクリックする。

② システムプロパティが表示されるので、上部の［デバイスマネージャ］のタブをクリックする。

③［その他のデバイス］の中の［Sony DSC］をクリックして右下の［削除（E）］ボタンをクリックする。

Windows 2000 Professional**をお使いの場合：**

* AdministratorまたはAdministrator権限のユーザーIDからログインする。

① デスクトップ画面の［マイコンピュータ］から［コントロールパネル］を開き、［システム］をダブルクリックする。

② システムプロパティが表示されるので、上部の［ハードウェア］のタブをクリックして、［デバイスマネージャ（D）］ボタンをクリックする。

③ デバイスマネージャの［表示］をクリックして、［デバイス（種類別）（E）］をクリックする。

④［その他のデバイス］の中の［Sony DSC］を右クリックして、［削除（E）］をクリックする。

6 **デバイス削除の確認画面が表示されたら、「OK」ボタンをクリックする。**

7 **本機の電源を切ってからUSBケーブルを取りはずし、パソコンを再起動する。**

8 **付属のCD-ROMの「USBドライバ」を31ページの手順でインストールする。**

手順は飛ばさないで、すべて行ってください。

バッテリーパック

症状	原因	処置
バッテリーを充電できない。	本機の電源が入っている。	電源を切る（9ページ）。
バッテリーの消耗が早い。	温度が極端に低いところで撮影／再生している。	ー
	充電が不充分。	満充電する。
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する。
バッテリーの残量表示が正しくない。または、バッテリー残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる。	温度が極端に高いまたは低いところで長時間使用している。	ー
	バッテリーそのものの寿命。	新しいバッテリーと交換する（8ページ）。
	バッテリーが消耗している。	満充電されたバッテリーを取り付ける（8、9ページ）。
	残量表示機能と実際の残量にズレが生じた。	満充電すると、残量表示機能が正しくなる（9ページ）。
バッテリー充電中、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点滅する。	バッテリーが故障している。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。
バッテリー充電中、POWER ON/OFF（CHG）ランプが点灯しない。	ACパワーアダプターがはずれている。	電源をきちんと接続する（9ページ）。
	バッテリーが正しく取り付けられてない。	正しく取り付ける（8ページ）。
	充電が完了している。	ー

警告表示について

液晶画面またはファインダーには次のような表示が出ます。説明にしたがいチェックしてください。

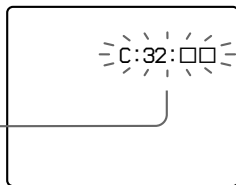
表示	意味
ドライブエラー	フロッピーディスクドライブの異常。
システムエラー	電源を入れ直す。
ディスクがありません	フロッピーディスクが入っていない。
メモリースティックがありません	“メモリースティック”が入っていない。
フォーマットエラー	• MS-DOSフォーマット(512バイト×18セクタ)以外のフロッピーディスクが入っている。 •“メモリースティック”が正しくフォーマットされていない。 • メモリースティック用フロッピーディスクアダプターが挿入されている。
メモリースティックエラー	本機では使えない“メモリースティック”が入っている。 または、“メモリースティック”が壊れている。 “メモリースティック”が正しく挿入されていない。
ディスクがプロテクトされています	フロッピーディスクのタブが書き込み禁止の位置になっている。
メモリースティックがロックされています	“メモリースティック”の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている。
ディスクがいっぱいです	フロッピーディスクの容量がいっぱいで記録できない。
メモリースティックの残量がありません	“メモリースティック”の空き容量が足りないので記録できない。
ファイルがありません	画像が記録されていない。
ファイルエラー	画像再生時の異常。
ファイルがプロテクトされています	画像に誤消去防止がかけられている。
ディスクエラー	2DDのフロッピーディスクが挿入されている。またはフロッピーディスクの異常。
ディレクトリエラー	同じディレクトリが存在する。
コピーできる容量を超えています	コピーしようとしているファイルサイズが大きすぎて本機ではコピーできない。
画像サイズオーバーです	本機で再生できるサイズより大きい画像を再生しようとした。
無効な操作です	本機以外で作成したファイルを再生しようとしている。

表示	意味
“ インフォリチウム ” バッテリーを使ってください。	“ インフォリチウム ”対応以外のバッテリーを使っている。
(鍵マーク)	画像に誤消去防止がかけられている。
(電池マーク)	バッテリーの残量が少ない。使用状況や環境、バッテリーパックによっては、残量時間が約5分から10分で(電池マーク)が点滅することがある。

自己診断表示 – アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。これは本機に異常が起きたときに液晶画面またはファインダーにアルファベットと4桁の数字でお知らせする機能です。表示によって、異常の内容が分かるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。

表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

自己診断表示

- 「C:□□:□□」
  お客さま自身で正常な状態に戻せる内容
- 「E:□□:□□」
  テクニカルインフォメーションセンターに相談していただく内容

表示	原因	対応のしかた
C:32:□□	フロッピーディスクドライブの異常。	電源を入れ直す。
C:13:□□	初期化していないフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を入れた。	初期化する。（72ページ）
	本機では使えないフロッピーディスクまたは“メモリースティック”を入れた。 データが壊れている。	フロッピーディスクまたは“メモリースティック”を交換する。（15、16ページ）
E:61:□□ E:91:□□	お客さま自身では対応できない異常が起きている。	テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。その際は、表示をすべてお知らせください。 例：E:61:10

「C:□□...」から始まる表示が出たときは、上記の操作を2、3度繰り返してください。それでも正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

その他

主な仕様

システム
撮像素子
6.64 mm（1/2.7型）
カラーCCD
レンズ
10倍ズームレンズ
f＝6.0〜60.0 mm
（35 mmカメラ換算では39〜390 mm）
F2.8
露出制御
自動
ホワイトバランス
自動、屋内、屋外、ワンプッシュ
データ方式
動画　　MPEG
静止画　JPEG、
GIF（テキストモード、クリップモーション時）、
TIFF
音声付静止画
MPEG（モノラル）
記憶媒体
3.5インチ　2HDフロッピーディスク（1.44 Mバイト）
“ メモリースティック ”
フラッシュ
推奨撮影距離 0.6 m 〜 2.5 m

入／出力端子
A/V OUT（MONO）**端子（モノラル）**
ミニジャック
映像：1 Vp-p、75 Ω不平衡、同期負
音声：327 mV（47 kΩ負荷時）
出力インピーダンス:
2.2 kΩ
ACC**端子**
ミニジャック
USB**端子**
mini-B

液晶画面
使用液晶パネル
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
123 200（560×220）ドット

ファインダー
使用液晶パネル
TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリックス）駆動
総ドット数
180 000（800×225）ドット

電源・その他
使用バッテリー
NP-F330（付属）/NP-F550
電源電圧バッテリー端子入力
8.4 V
消費電力（撮影時）
4.2 W（液晶画面使用時）
3.8 W（ファインダー使用時）
動作温度
0℃ 〜 ＋40℃
保存温度
–20℃ 〜 ＋60℃
最大外形寸法
127×124×184 mm（幅×高さ×奥行）
本体質量
約990 g（バッテリーNP-F330、フロッピーディスク／“ メモリースティック ”、レンズキャップなど含む）
内蔵マイクロホン
エレクトレットコンデンサマイクロホン
内蔵スピーカー
ダイナミックスピーカー

AC**パワーアダプター**
AC-L10A
電源
AC100〜240 V、
50/60 Hz
定格出力
DC8.4 V、1.5 A
動作温度
0℃〜＋40℃
保存温度
–20℃〜＋60℃
最大外形寸法
125×39×62 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量
約280 g

バッテリーNP-F330
使用電池
リチウムイオン蓄電池
最大電圧
DC8.4 V
公称電圧
DC7.2 V
容量
5.0 Wh（700 mAh）
動作温度
0℃ 〜 ＋40℃
最大外形寸法
38.4×20.6×70.8 mm
（幅×高さ×奥行）
本体質量
約70 g

付属品
ACパワーアダプター
AC-L10A（1）
電源コード（1）
USB接続ケーブル（1）
バッテリーパックNP-F330（1）
AV接続ケーブル（1）
ショルダーベルト（1）
レンズキャップ（1）
レンズキャップ用ひも（1）
CD-ROM（SPVD-004 USBドライバ）（1）
取扱説明書（1）
安全のために（1）
保証書（1）

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやフロッピーディスク、“ メモリースティック ” などの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保管してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

“ 故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは

テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、テクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際交換した部品はご同意をいただいた上で回収させていただきますので、ご協力ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10AはAC 100 V ～ 240 V・50/60 Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。
ただし、電源コンセントの形状の異なる国または地域では、電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。
電子式変圧器（トラベルコンバーター）は、ご使用にならないでください。故障の原因となります。

画面表示

撮影時

1 **シャープネス表示**

2 **マクロ表示／手動ピント合わせ表示**

3 **バッテリー残量表示**

4 **フラッシュレベル表示／フラッシュモード表示**

5 **プログラム AE表示／ズーム表示**

6 **ホワイトバランス表示**

7 **手ぶれ補正表示**

8 **ピクチャーエフェクト表示**
これらの表示は操作時のみ表示されます。

9 **日付／時刻表示**

10 **EV補正表示**

11 **アイリス/シャッタースピード表示**

12 **AE/フォーカスロック表示**

13 **撮影モード／クリップモーション表示**

14 **画像サイズ表示**

15 **撮影枚数表示**

16 **ディスク／"メモリースティック"残量表示**
：フロッピーディスク
："メモリースティック"

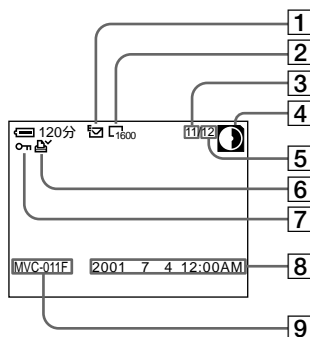
17 **動画／VOICE録画時間表示**

18 **自己診断表示／記録時間表示**

19 **セルフタイマー表示**

20 **スポット測光照準**

21 **メニューバー／ガイドメニュー**
コントロールボタンの▲を押すと表示されます。▼を押すと消えます。

静止画再生時

1 **撮影モード／クリップモーション表示**

2 **画像サイズ表示**

3 **画像番号**

4 **ディスク／“ メモリースティック ”残量**

：フロッピーディスク

：“ メモリースティック ”

5 **フロッピーディスク／“ メモリースティック ”記録枚数**

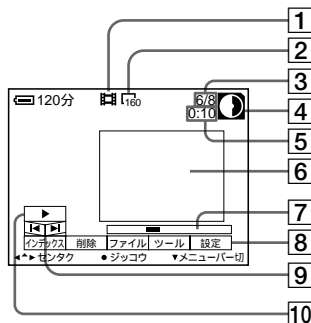
6 **プリントマーク表示**

7 **プロテクト表示／ズーム倍率表示**

8 **画像の記録日時表示***

9 **ファイル名***

* メニューバーを表示しているときは消えます。

動画再生時

1 **撮影モード表示**

2 **画像サイズ表示**

3 **画像番号／フロッピーディスク／“ メモリースティック ”記録枚数**

4 **ディスク／“ メモリースティック ”残量**

：フロッピーディスク

：“ メモリースティック ”

5 **カウンター**

6 **再生画像**

7 **再生バー**

8 **メニューバーとガイドメニュー**

9 **画像送りボタン**

10 **再生スタート／一時停止ボタン**

▶：停止中

❚❚：再生中

索引

マ行

ラ行

アルファベット順

その他

カスタマー登録のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

ソニーではデジタルスチルカメラをお買い上げの皆様へのサポートをより充実させていくため、お客様に「カスタマー登録」をお勧めしています。
詳しくは同梱の「カスタマーご登録のお勧め」をご覧ください。

■カスタマー登録および登録内容の変更は
こちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/di-regi/

カスタマー登録に関する問い合わせ
ソニーマーケティング（株）
カスタマー専用デスク
電話： **03-3584-6651**
受付時間：月～金曜日　午前10時～午後6時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

お問い合わせ窓口のご案内

電話のおかけ間違いにご注意ください。

■デジタルイメージングカスタマーサポート
デジタルスチルカメラとパソコンの接続方法や、
最新サポート情報をご案内するホームページです。
http://www.sony.co.jp/support-di/

■テクニカルインフォメーションセンター
ご使用上での不明な点や技術的なご質問のご相談、および修理受付の窓口です。
電話： **0564-62-4979**
受付時間：月～金曜日　午前9時～午後5時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

D-Imaging World (デジタルイメージングワールド)
デジタルスチルカメラやハンディカムを楽しく
使っていただくためのホームページです。
http://www.sony.co.jp/di-world/

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

http://www.sony.co.jp/

この説明書は再生紙を使用しています。

Printed in Japan

VOC（揮発性有機化合物）1%以下植物油インキ使用

3 0 6 6 7 4 3 0 1